

# 景気動向調査結果

(令和6年 10 月分)

長野県産業労働部

この調査は、県内企業 700 社（製造業 300 社（うちヒアリング 65 社）、非製造業 400 社（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業））を対象に、令和 6 年 10 月末の状況（前年同期、3 か月前と比較した状況、3 か月後の状況予想）について、令和 6 年 11 月にヒアリング又は書面により行ったものです。

なお、平成 23 年度の調査から、従来の「製造業」に、「非製造業」（建設業、情報サービス業、小売業、卸売業、飲食業、宿泊業）も加えて実施しています。

また、平成 26 年度の調査から、非製造業の調査対象企業数を従来の 600 社から 400 社に変更し、平成 29 年度の調査から、小売業と卸売業、飲食業と宿泊業を分けて結果を発表しています。

回答企業数は、454 社（製造業 216 社（うちヒアリング 64 社）、非製造業 238 社）で、回答率は 64.9 パーセントでした。

※調査結果の概要は、インターネットで御覧になれます。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/sansei/sangyo/shokogyo/toukei/kekka/index.html>

お問い合わせ先：製造業について

長野県産業労働部産業政策課（TEL 026-232-0111 内線 2925）

非製造業について

長野県産業労働部経営・創業支援課（TEL 026-232-0111 内線 2957）

# 令和6年10月の景気動向

## 1 総論

長野県経済は、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続いているものの、一部で持ち直しの動きがみられます。

製造業の業況は、自動車関連の受注・生産が堅調に推移しているものの、長引くエネルギー・原材料価格高騰等により収益率に低下がみられるとともに、中国経済の減速の影響等により電機・電子や機械などで受注、生産に弱さがみられ、全体では10期連続でマイナス水準となりました。

非製造業の業況は、価格転嫁の進展や堅調なインバウンド需要等により、情報サービス業、卸売業、飲食業、宿泊業がプラス水準となり、全体でも改善が見られるものの、原材料価格の高騰や賃上げ等に伴う経費の増加に加え、消費者の節約志向も影響し、4期連続のマイナス水準となりました。

## 2 製造業

### (1) 業界の業況

前年同期（令和5年10月）と比較したD I（業況が「好転」とする企業の割合から「悪化」とする企業の割合を引いた差）は $\Delta 21.3$ となり、前回調査時（令和6年7月）の $\Delta 24.1$ より2.8ポイント改善しました。

3か月前（令和6年7月）と比較したD Iは $\Delta 4.2$ となり、前回調査時の $\Delta 9.3$ より5.1ポイント改善しましたが、12期連続のマイナス水準となりました。

3か月後（令和7年1月）の予想では、D Iは $\Delta 11.4$ となり、11期連続のマイナス水準となりました。

#### 〔主な業種の動き〕

ア 電機・電子では、パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産に増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。半導体関連は、EVを中心とした自動車関連向けでは、受注、生産が堅調に推移しているものの、スマートフォン、PC向けで需要回復の遅れにより、受注、生産に足踏みがみられます。抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向けで受注、生産が低調に推移しており、自動車関連向けの一部では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に持ち直しがみられます。モーター等では、航空機向けは、航空機需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

イ 一般機械では、工作機械は、中国経済の減速の影響等により、全体的に受注、生産が低調に推移している一方で、半導体向けは、堅調に推移しています。建設機械は、海外向けの受注が減少しており、生産、販売に一服感がみられます。

ウ 精密では、時計は、国内外ともに需要が堅調であり、受注、生産は好調に推移しています。レンズは、自動車関連向けと映像関連向けで受注、生産が堅調に推移しています。圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産は底堅く推移しています。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

エ 自動車部品では、受注、生産が堅調に推移しているものの、一部自動車メーカーの海外生産の落ち込みの影響が懸念されます。

オ 味そは、原材料価格の高騰により、収益率の低下がみられます。酒類は、季節的要因により受注、生産が増加しているものの、国内市場の縮小により弱含んでいます。飲料は、季節的要因により、受注、生産が減少しています。

## (2)受注引合

前年同期比では、「増加」とする企業が24.2%と前回(22.4%)より増加し、「減少」とする企業が39.1%と前回(39.5%)より減少した結果、D Iは前回(△17.1)より改善し、△14.9となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が14.6%と前回(23.5%)より減少し、「減少」とする企業が26.3%と前回(24.3%)より増加した結果、D Iは前回(△0.8)より悪化し、△11.7となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業は13.7%、「減少」とする企業が25.1%となった結果、D Iは△11.4となりました。

## (3)生産量

前年同期比では、「増加」とする企業が23.7%と前回(20.4%)より増加し、「減少」とする企業が43.7%と前回(43.4%)より僅かに増加した結果、D Iは前回(△23.0)より改善し、△20.0となりました。

3ヵ月前との比較では、「増加」とする企業が19.2%と前回(19.2%)と同じ、「減少」とする企業が25.4%と前回(28.1%)より減少した結果、D Iは前回(△8.9)より改善し、△6.2となりました。

3ヵ月後の予想については、「増加」とする企業が14.2%、「減少」とする企業が25.1%となった結果、D Iは△10.9となりました。

## (4)製品販売価格

前年同期比では、「高い」とする企業が41.4%と前回(48.9%)より減少し、「安い」とする企業が4.2%と前回(3.5%)より増加した結果、D Iは前回(45.4)より悪化し、37.2となりました。

3ヵ月前との比較では、「高い」とする企業が13.1%と前回(20.7%)より減少し、「安い」とする企業が2.8%と前回(2.2%)より増加した結果、D Iは前回(18.5)より悪化し、10.3となりました。

3ヵ月後の予想については、「高い」とする企業が14.2%、「安い」とする企業が1.9%となった結果、D Iは12.3となりました。

## (5)資金繰り

前年同期比では、「らく」とする企業が6.6%と前回(8.6%)より減少し、「苦しい」とする企業が15.2%と前回(15.3%)より僅かに減少した結果、D Iは前回(△6.7)より悪化し、△8.6となりました。

3ヵ月前との比較では、「らく」とする企業が3.8%と前回(5.5%)より減少し、「苦しい」とする企業が12.4%と前回(8.6%)より増加した結果、D Iは前回(△3.1)より悪化し、△8.6となりました。

3ヵ月後の予想については、「らく」とする企業が3.9%、「苦しい」とする企業が15.9%となった結果、D Iは△12.0となりました。

## (6)収益率

前年同期比では、「上昇」とする企業が17.6%と前回(19.2%)より減少し、「低下」とする企業が44.4%と前回(39.7%)より増加した結果、D Iは前回(△20.5)より悪化し、△26.8となりました。

3ヵ月前との比較では、「上昇」とする企業が8.9%と前回(11.9%)より減少し、「低下」とする企業が25.7%と前回(24.8%)より増加した結果、D Iは前回(△12.9)より悪化し、△16.8となりました。

3ヵ月後の予想については、「上昇」とする企業が8.5%、「低下」とする企業が23.1%となった結果、D Iは△14.6となりました。

## (7) 製造業の業種別動向

### 電機・電子

(コンピュータ・情報機器) パソコンは、法人向け需要の増加により、受注、生産が増加がみられます。プリンターは、受注、生産が堅調に推移しています。

(半導体関連・プリント基板) 半導体関連は、EVを中心とした自動車関連向けでは、受注、生産が堅調に推移しているものの、スマートフォン、PC向けで需要回復の遅れにより、受注、生産に足踏みがみられます。

(抵抗器・コンデンサ等) 抵抗器・コンデンサ等は、情報通信向け、産業用機械向けで受注、生産が低調に推移しており、自動車関連向けの一部では、半導体不足解消等を背景に、受注、生産に持ち直しがみられます。

(モーター等) 産業用ロボット向けは、中国での需要減少の影響等により、受注、生産が低調に推移している一方で、航空機向けは、航空機需要の回復により、受注、生産が堅調に推移しています。

(その他) 車載部品は、一部自動車メーカーの工場再開により、持ち直しがみられます。

### 一般機械

(工作機械) 工作機械は、中国経済の減速の影響等により、全体的に受注、生産が低調に推移している一方で、半導体向けは、堅調に推移しています。

(金型) 金型は、自動車関連向けで一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響が限定的であったこと等により、持ち直しがみられます。

(建設機械) 建設機械は、海外向けの受注が減少しており、生産、販売に一服感がみられます。

(農業用機械等) 農業用機械等は、国内向けの需要が減少しており、低調に推移しています。

## 精 密

(時 計) 時計は、国内外ともに需要が堅調であり、受注、生産は好調に推移しています。

(レ ン ズ) レンズは、自動車関連向けと映像関連向けで受注、生産が堅調に推移しています。

(計 器) 圧力計は、半導体関連を中心に、受注、生産は底堅く推移しています。LPガスメーターは、ガス用IoT関連機器がけん引し、受注、生産が堅調に推移しています。

## 自 動 車 部 品

自動車部品は、受注、生産が堅調に推移しているものの、一部自動車メーカーの海外生産の落ち込みの影響が懸念されます。

## 食 料 品

(味 そ) 味そは、原材料価格の高騰により、収益率の低下がみられます。

(酒 類) 酒類は、季節的要因により受注、生産が増加しているものの、国内市場の縮小により弱含んでいます。

(飲 料) 飲料は、季節的要因により、受注、生産が減少しています。

## 織 維 ・ 衣 服

繊維・衣服は、残暑が長引いたことにより、受注、生産に弱さがみられます。

## 紙 ・ パ ル プ

ダンボールは、季節的要因により、農産物向けで受注、生産が減少しています。

## 印 刷

印刷は、印刷・製本の需要の低迷などにより、引き続き低調に推移しています。

## 3 非製造業

### 業界の業況

前年同期（令和5年10月）と比較したD Iは $\Delta 7.7$ となり、4期連続のマイナス水準であるものの、前回調査時（令和6年7月）の $\Delta 16.7$ より9.0ポイント改善しました。

3か月前（令和6年7月）と比較したD Iは $\Delta 13.6$ となり、5期連続のマイナス水準であるものの、前回調査時の $\Delta 14.4$ より0.8ポイント改善しました。

また、3か月後（令和7年1月）の予想では、D Iは $\Delta 30.0$ となりました。

### 〔主な業種の動き〕

#### ア 建設業

建設業では、工事の受注増や価格転嫁等により売上高D I、受注件数D I、収益率D Iが改善しましたが、資材価格の高騰や人材不足によりいずれもマイナス水準が続いていることから、業況D Iは $\Delta 18.2$ と前回（ $\Delta 45.4$ ）より改善したものの、マイナス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 30.3$ です。

#### イ 情報サービス業

情報サービス業では、システムやハード機器の更新等の受注増により売上高D I、受注件数D Iが改善し、価格転嫁や外注費等の経費削減により収益率D Iも改善したことから、業況D Iは8.3と前回（ $\Delta 12.5$ ）より改善し、プラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 8.4$ です。

#### ウ 小売業

小売業では、消費者の買い控え等により売上高D I、客数D Iが悪化し、仕入価格や人件費の高騰により収益率D Iもマイナス水準が続いていることから、業況D Iは $\Delta 22.0$ と前回（ $\Delta 15.1$ ）より悪化し、5期連続のマイナス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 35.1$ です。

#### エ 卸売業

卸売業では、飲食業や宿泊業での需要増や価格転嫁により売上高D I、収益率D Iが改善したことから、業況D Iは11.8と前回（ $\Delta 15.0$ ）より改善し、4期ぶりにプラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 29.4$ です。

#### オ 飲食業

飲食業では、仕入価格や人件費等の高騰により収益率D Iがマイナス水準であるものの、食材やメニュー、価格の見直しやインバウンド需要等により売上高D Iは改善していることから、業況D Iは12.5と前回（ $\Delta 14.3$ ）よりも改善し、プラス水準となりました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 12.5$ です。

#### カ 宿泊業

宿泊業では、インバウンド需要、国内需要ともに堅調であることから売上高D I、客数D Iはともにプラス水準を維持しており、人件費や光熱費等の高騰分の価格転嫁により収益率D Iも改善していることから、業況D Iは68.8と前回（28.6）より大幅に改善しました。

3か月後の業況D Iは、 $\Delta 31.3$ です。

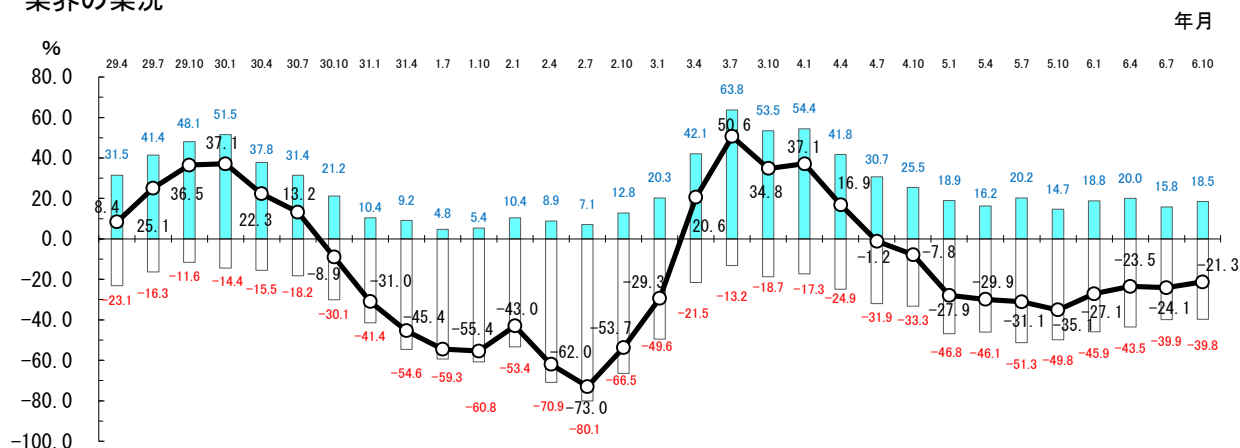
# 景気動向調査集計結果

(注)棒グラフのプラス側は好転（増加、上昇）の企業の割合、マイナス側は悪化（減少、低下）の企業の割合です。  
折れ線グラフ（D I）は好転（増加、上昇）の企業の割合から悪化（減少、低下）の企業の割合を引いた差です。

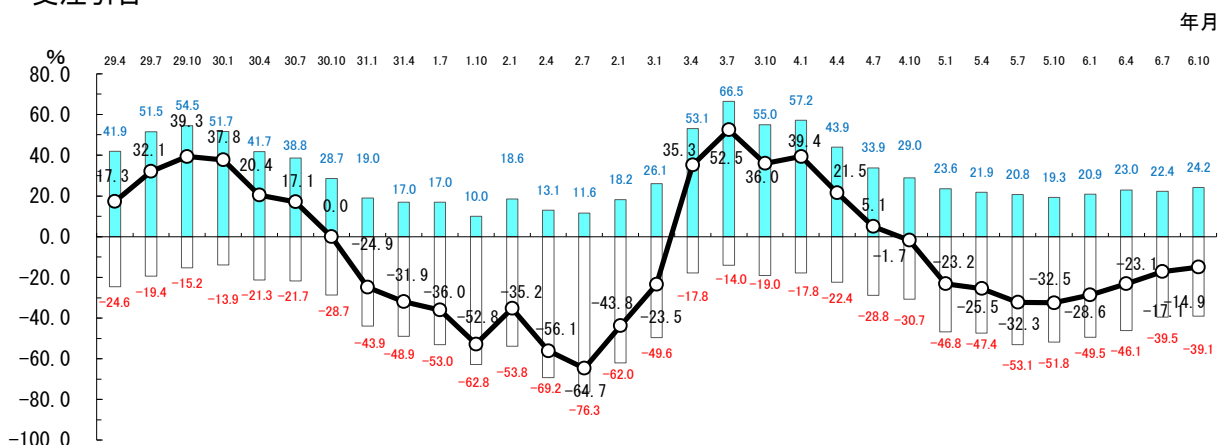
## 1 製造業

### (1) 前年同期に比べて

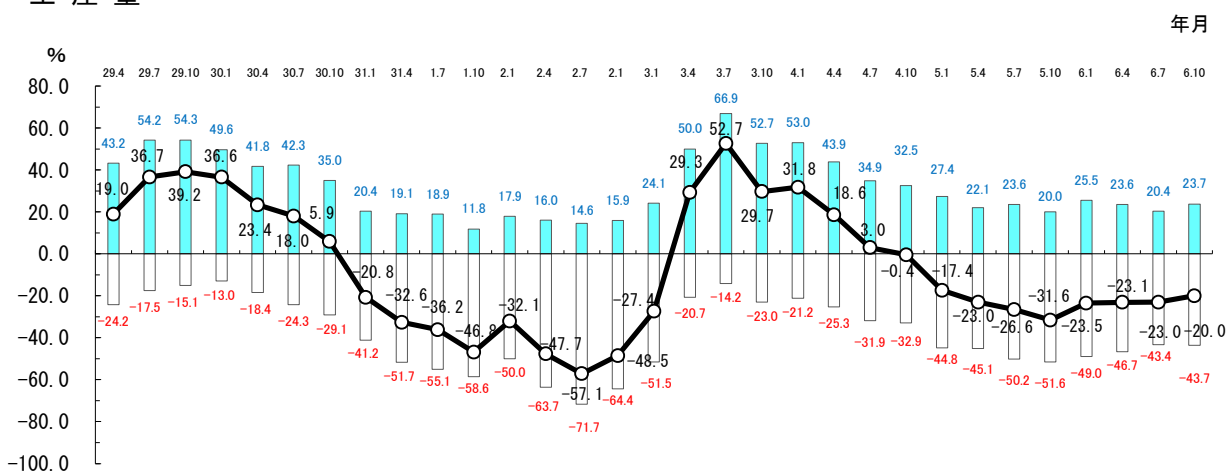
#### 業界の業況



#### 受注引合

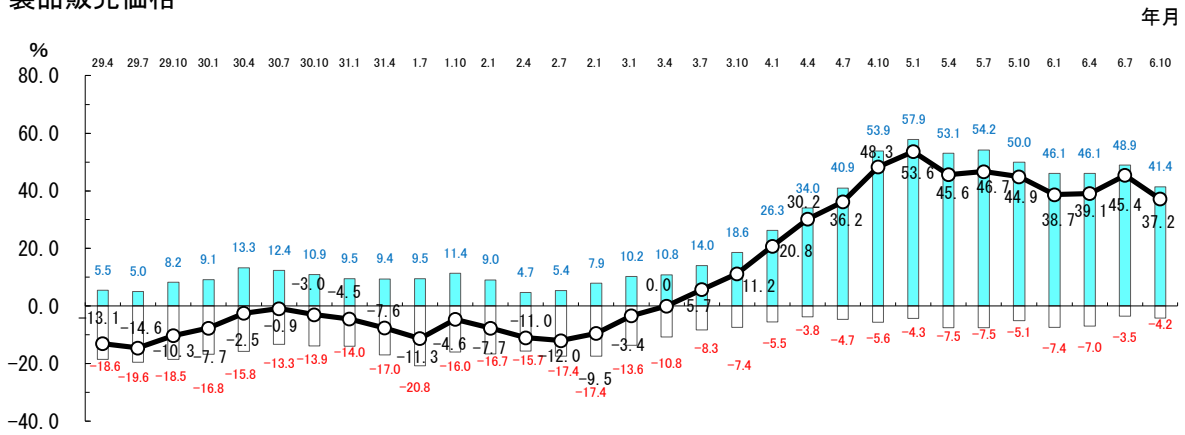


#### 生産量

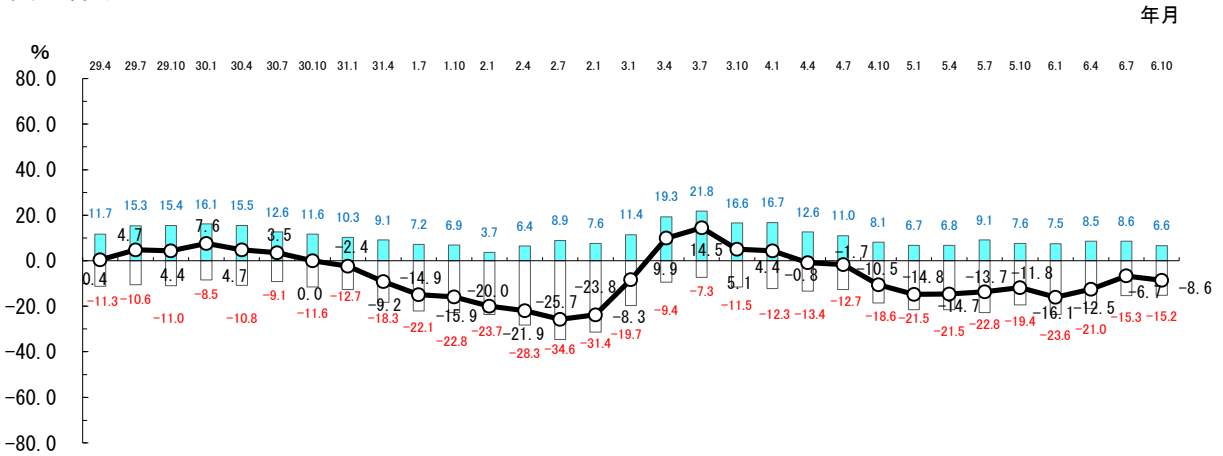




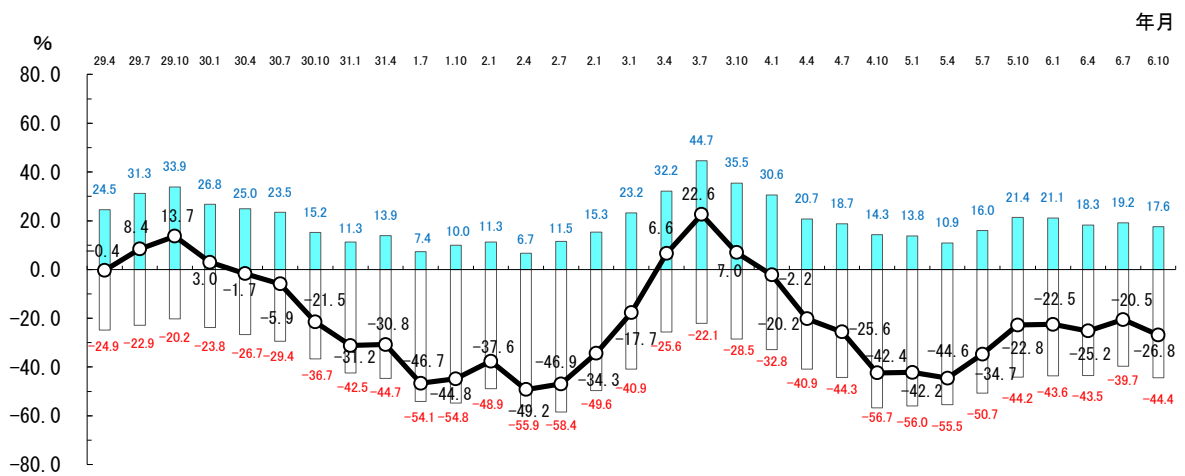
### 製品販売価格



### 資金繰り

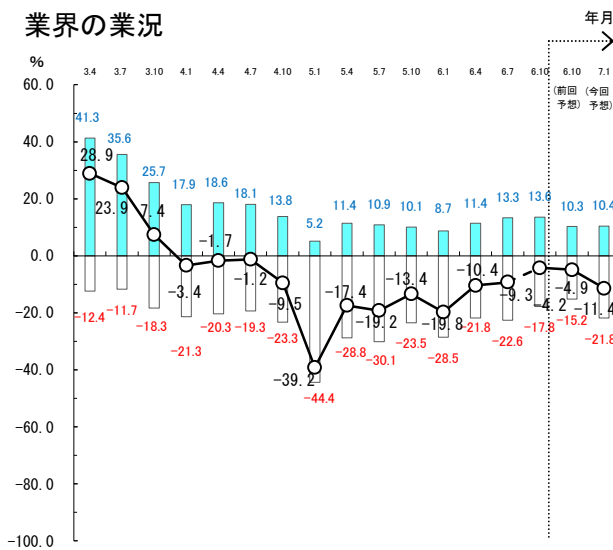


### 収益率

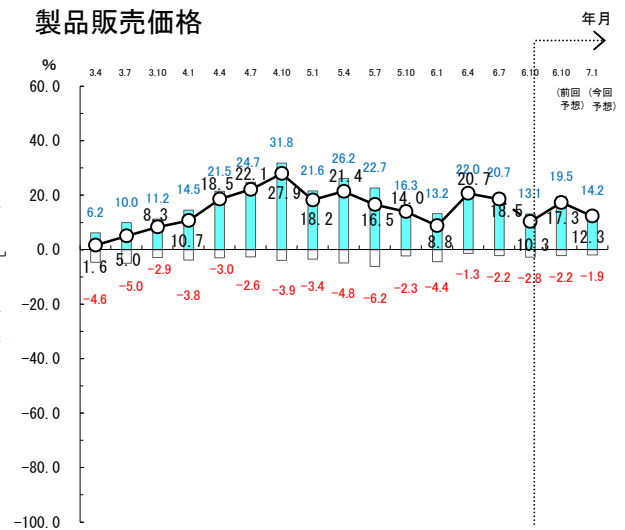


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想

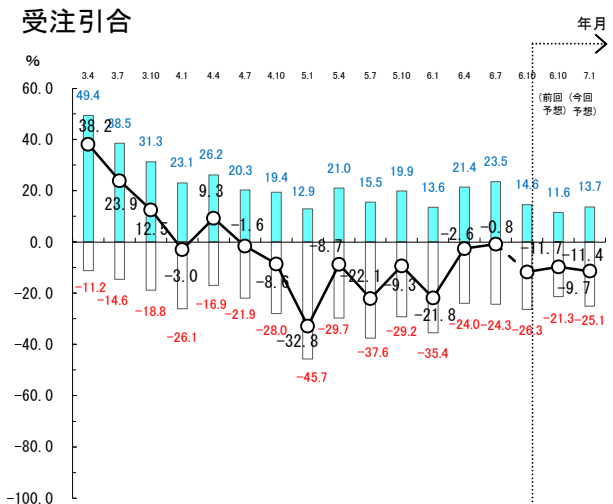
業界の業況



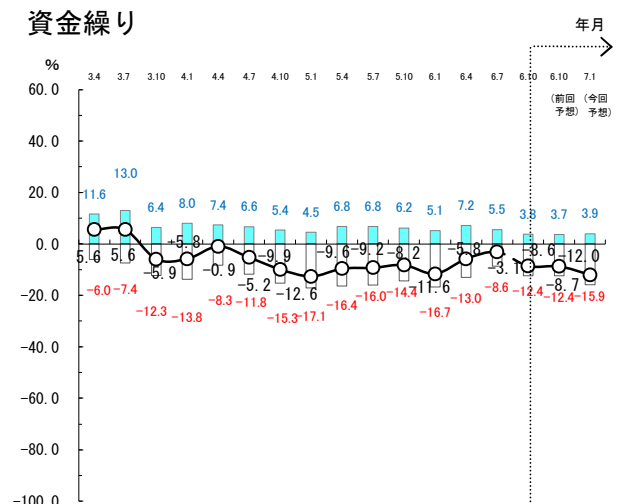
製品販売価格



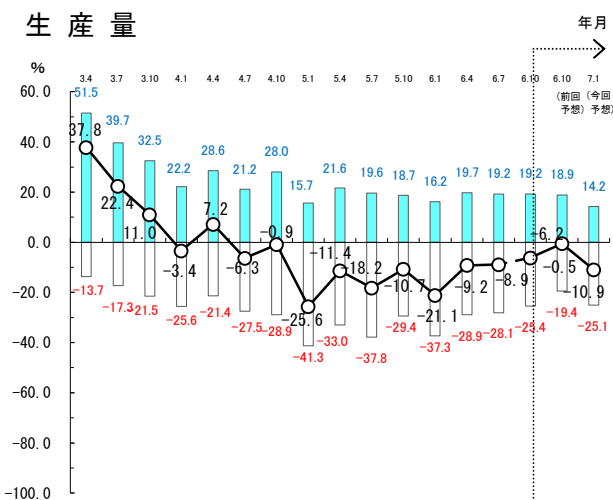
受注引合



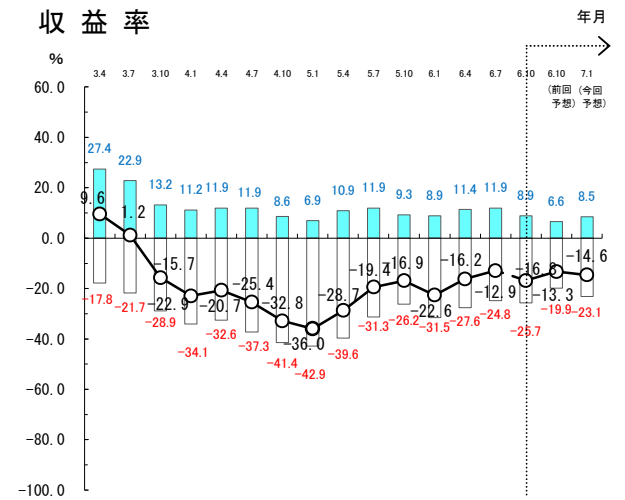
資金繰り



生産量



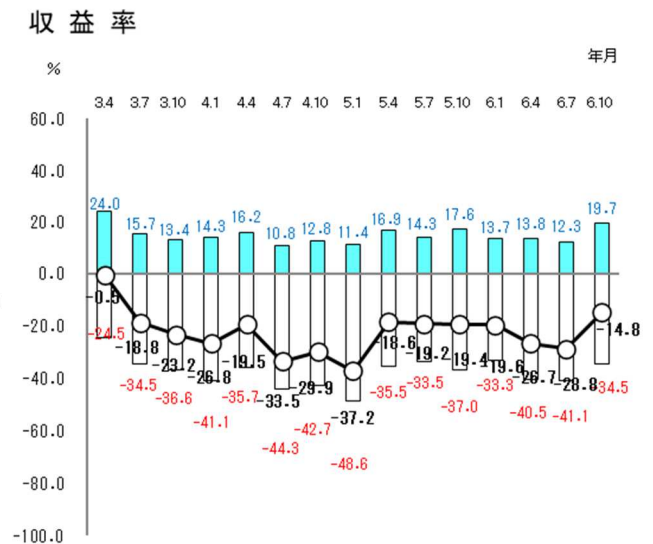
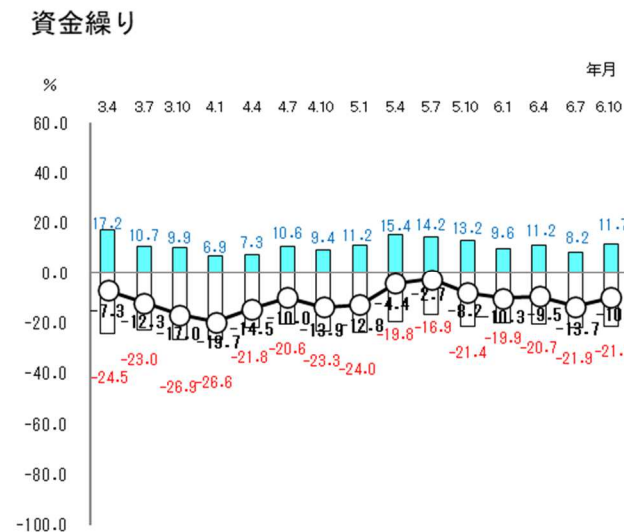
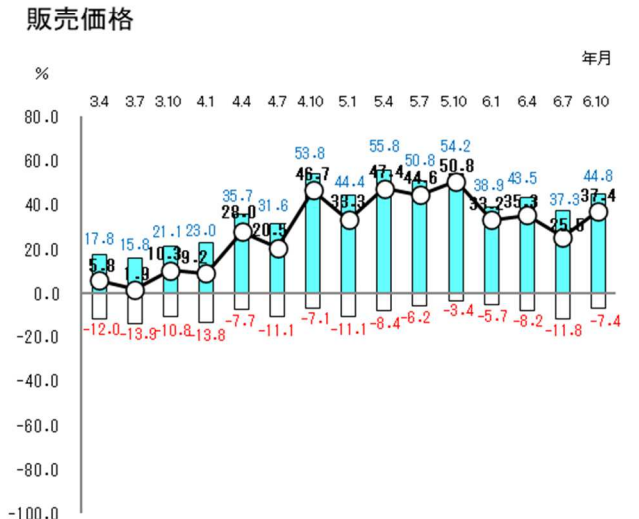
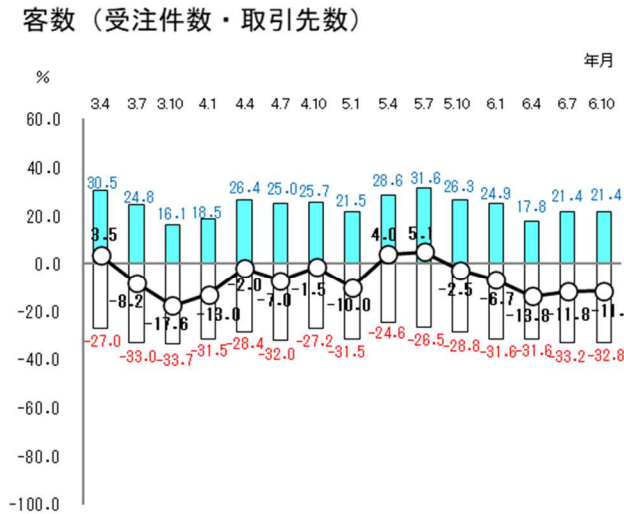
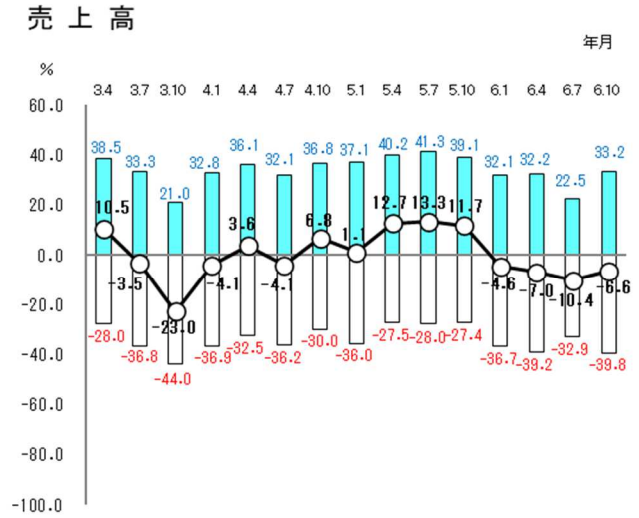
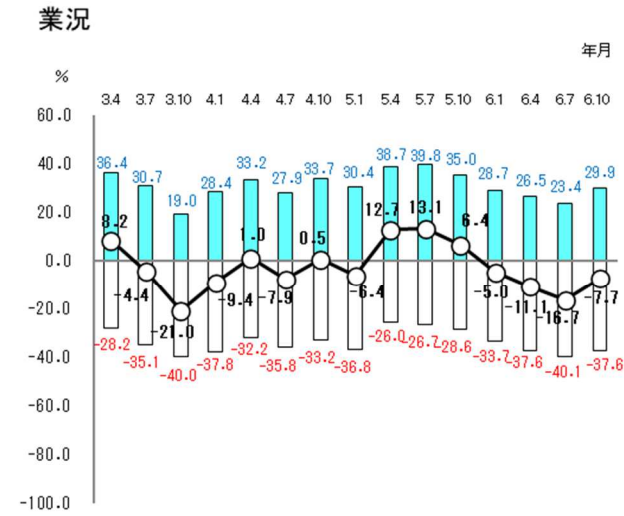
収益率



## 2 非製造業

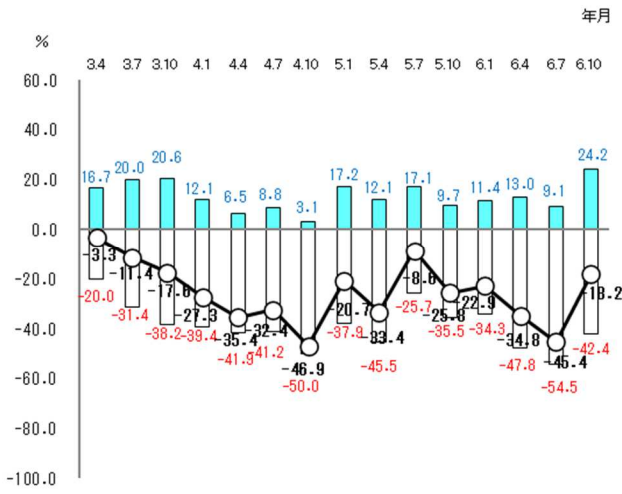
### 非製造業全体

#### (1) 前年同期に比べて

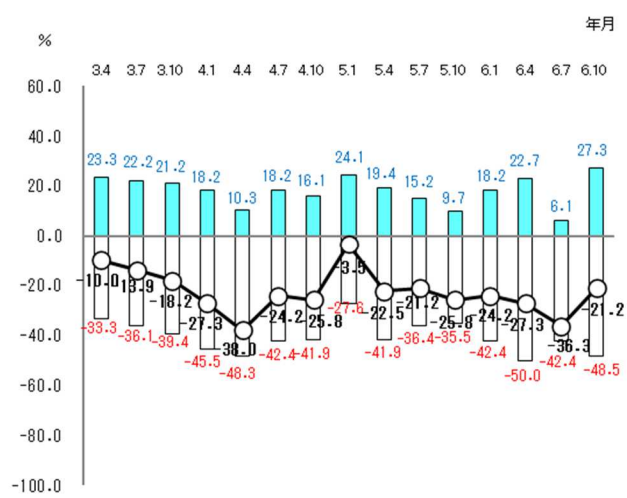


# ア 建設業

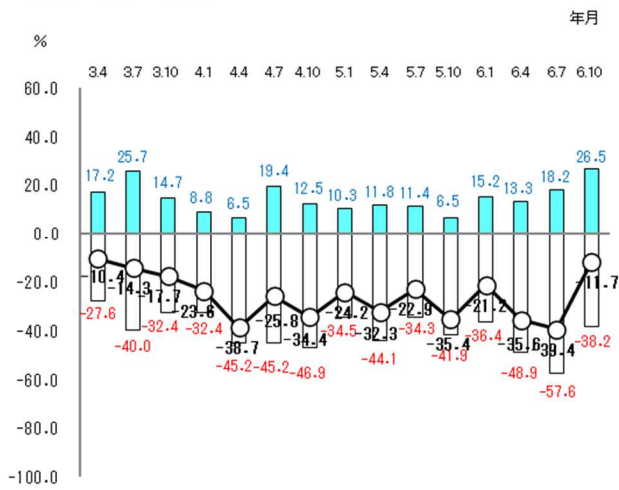
## 業況



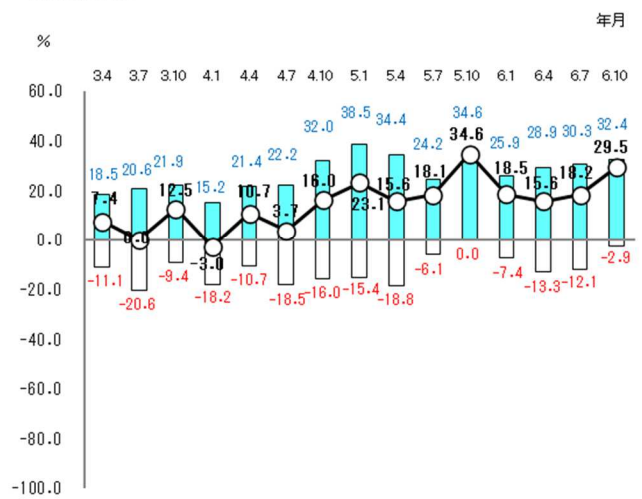
## 売上高



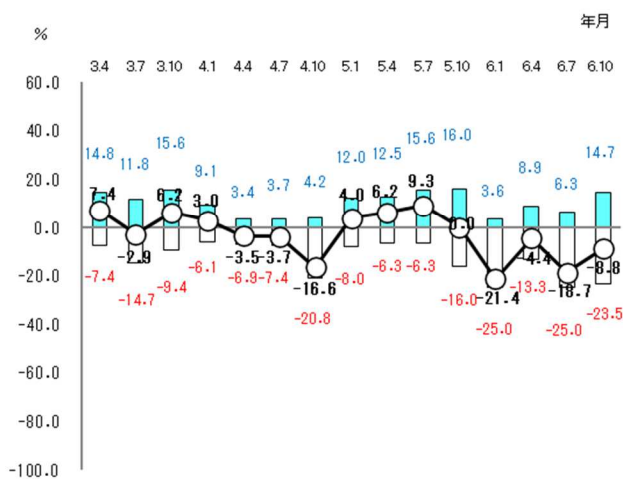
## 客数 (受注件数)



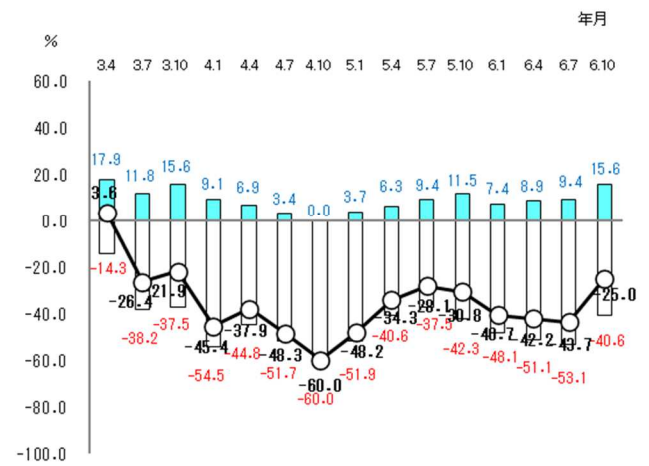
## 販売価格



## 資金繰り

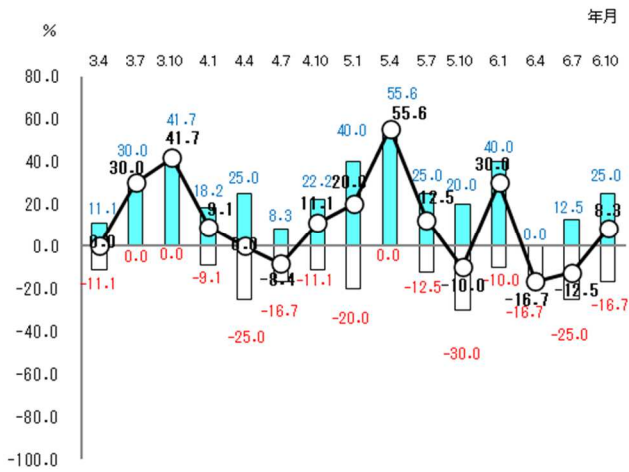


## 収益率

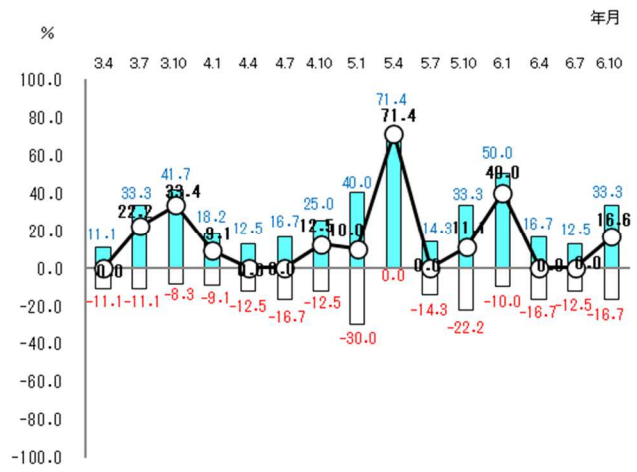


# イ 情報サービス業

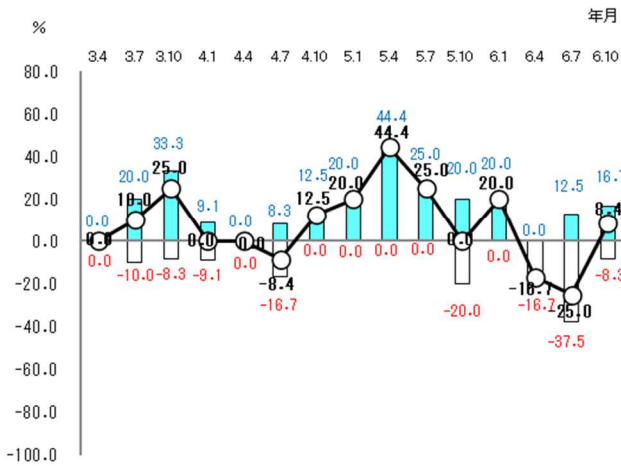
## 業況



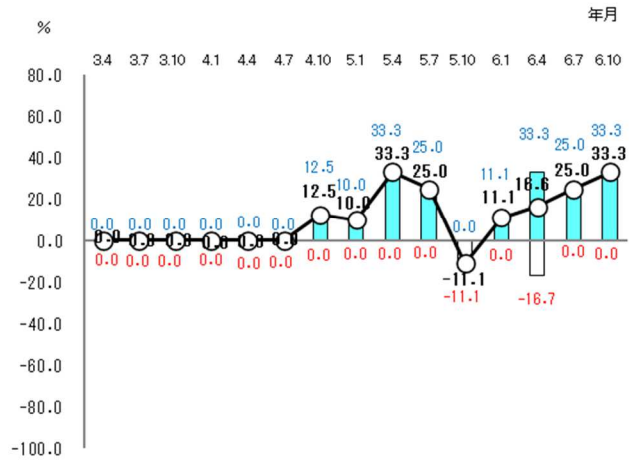
## 売上高



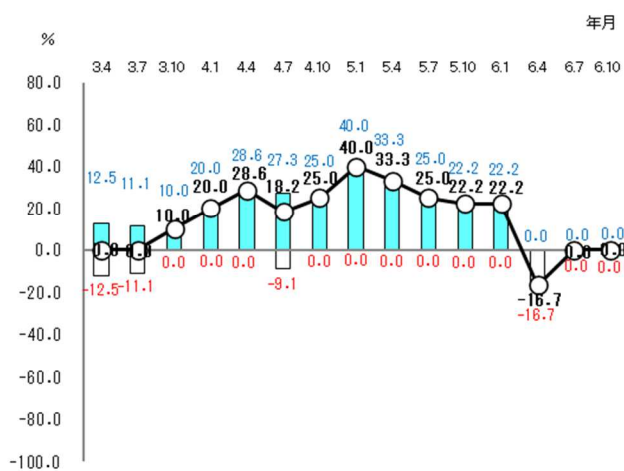
## 客数 (受注件数)



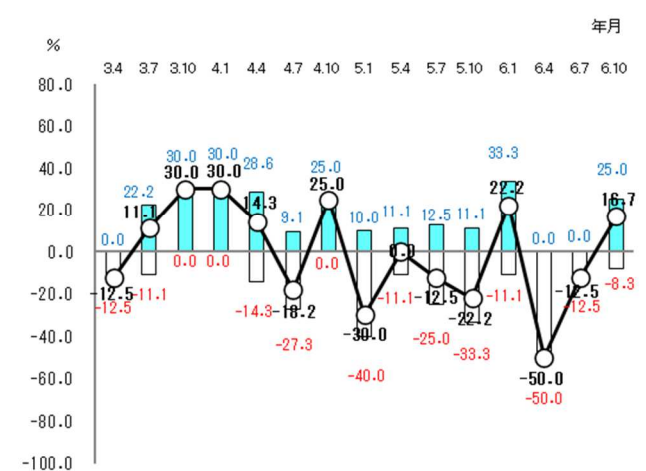
## 販売価格



## 資金繰り

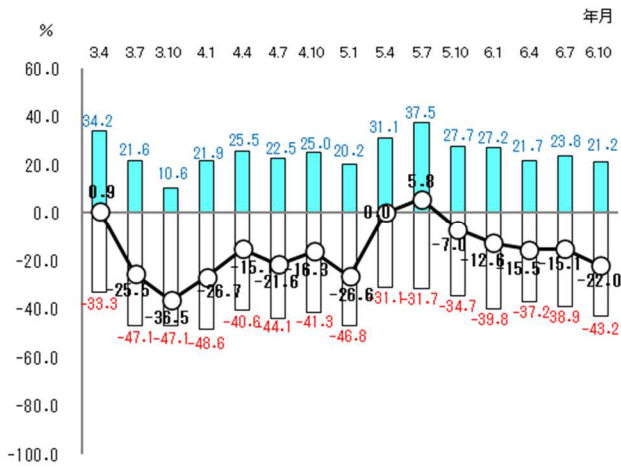


## 収益率

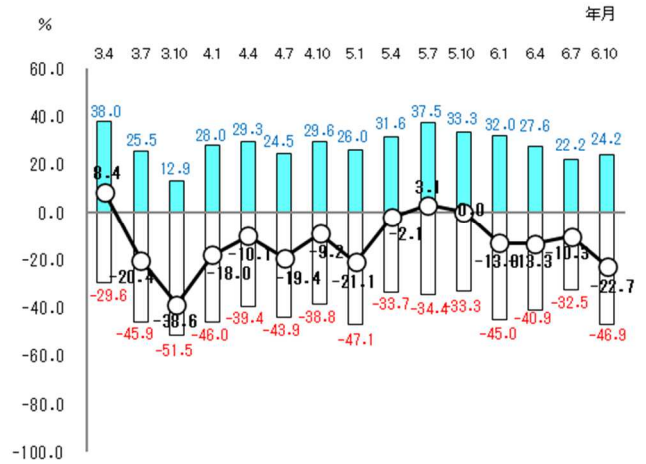


# ウ 小売業

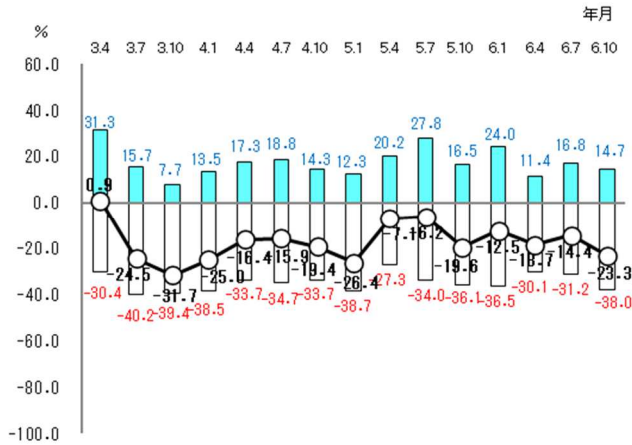
## 業況



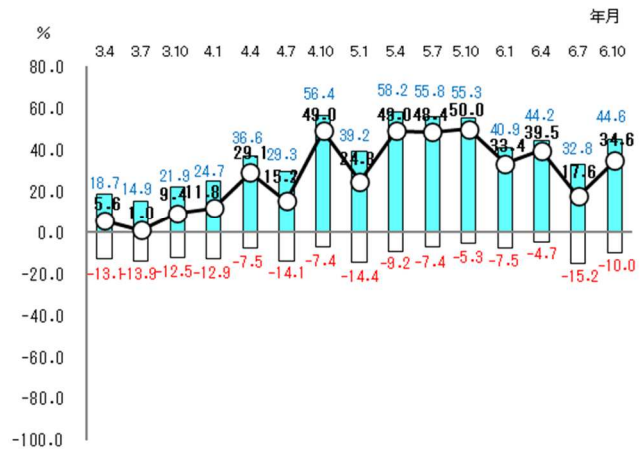
## 売上高



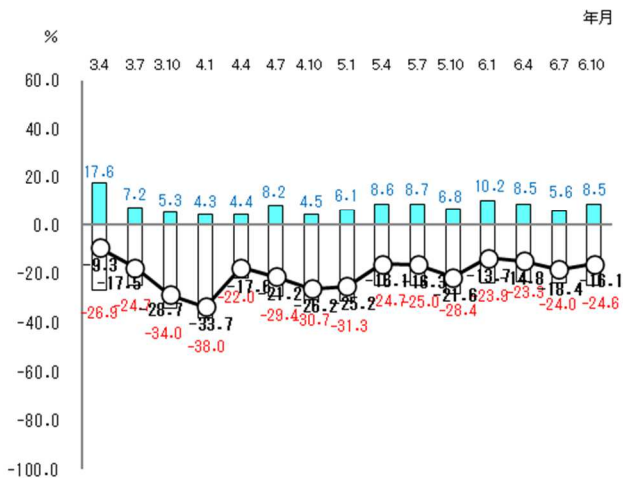
## 客数



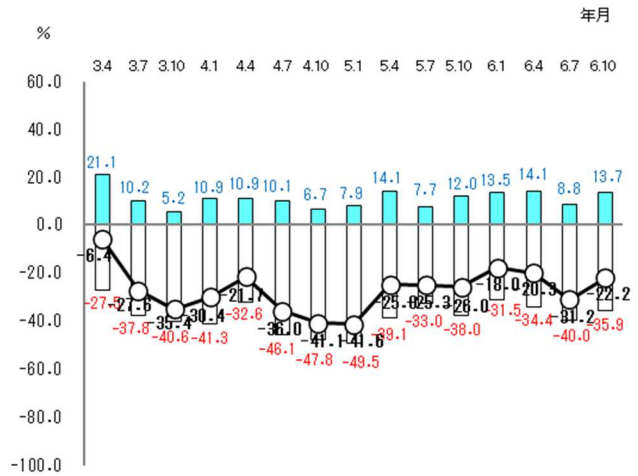
## 販売価格



## 資金繰り

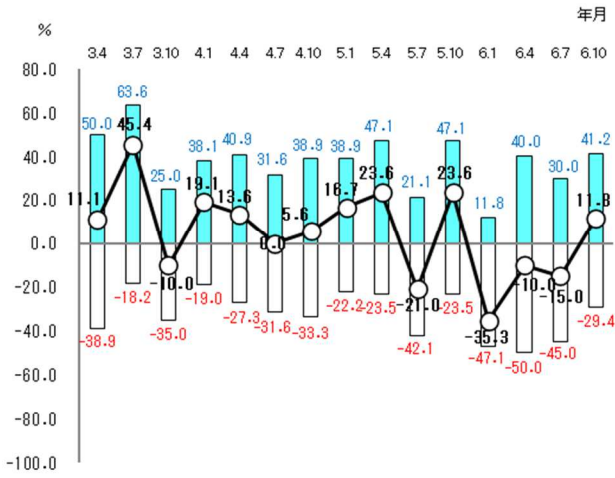


## 収益率

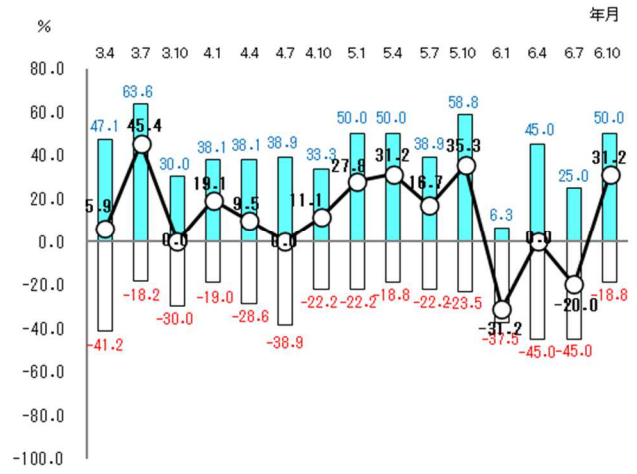


# 工 卸売業

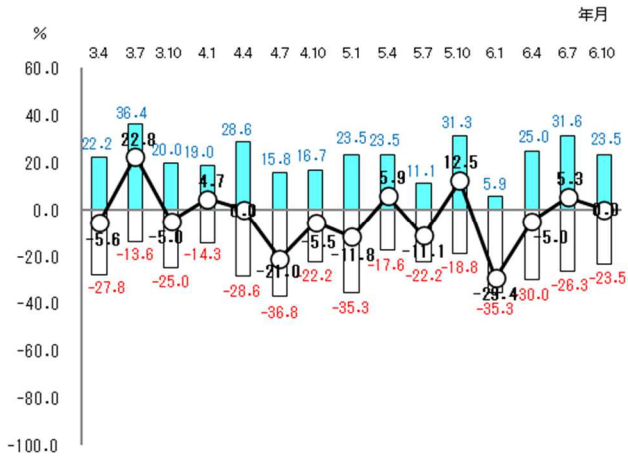
## 業況



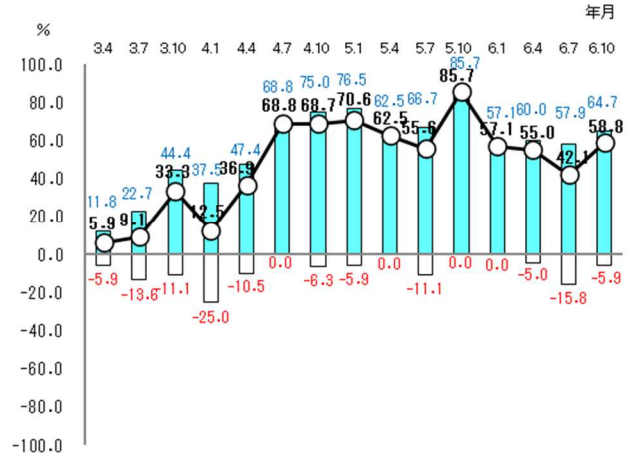
## 売上高



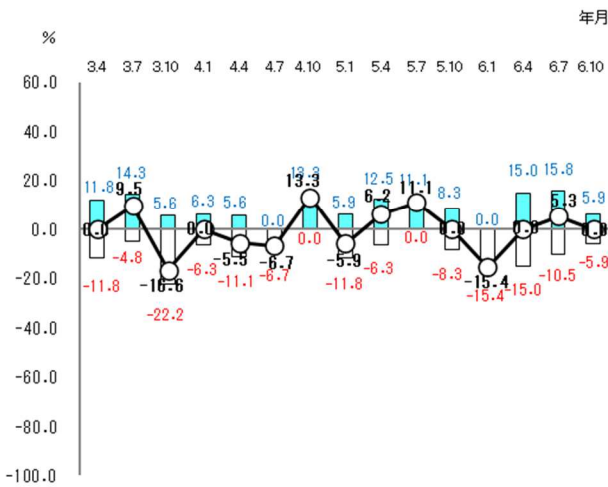
## 客数 (取引先数)



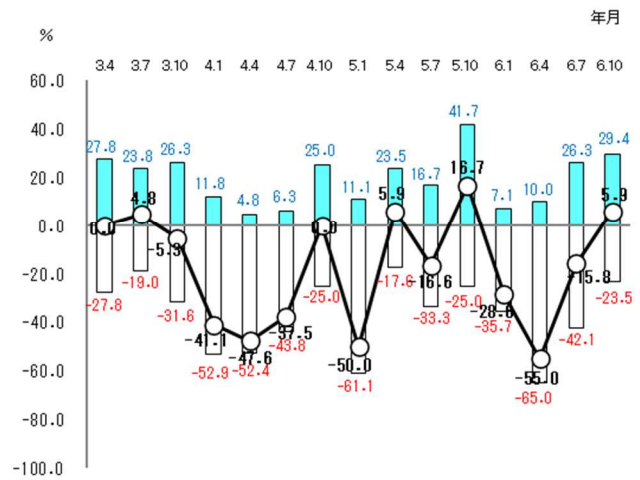
## 販売価格



## 資金繰り

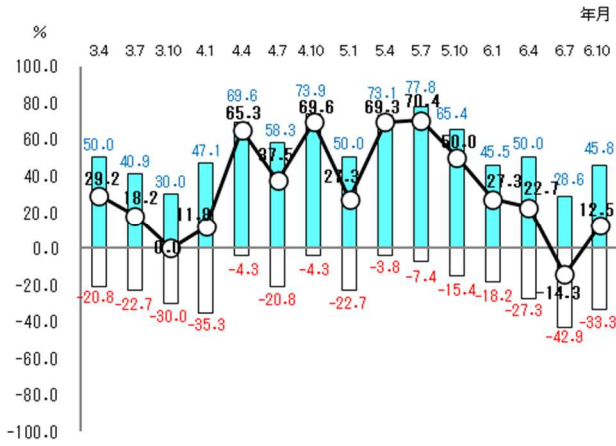


## 収益率

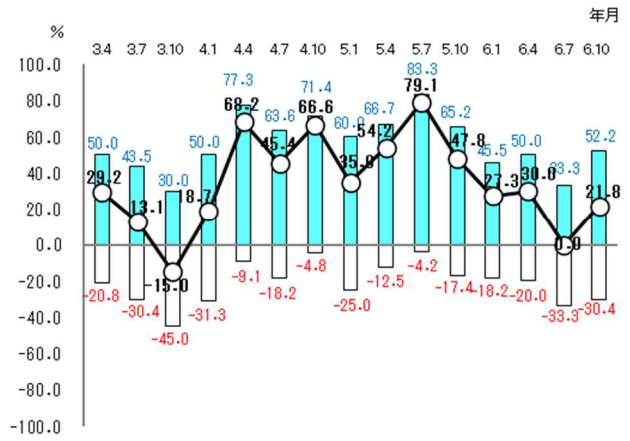


# 才 飲食業

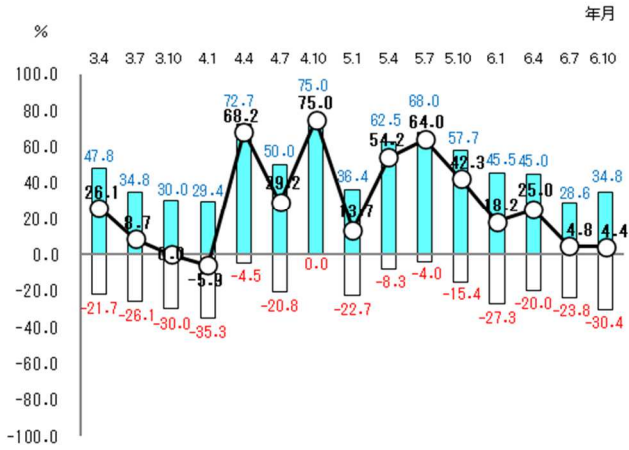
## 業況



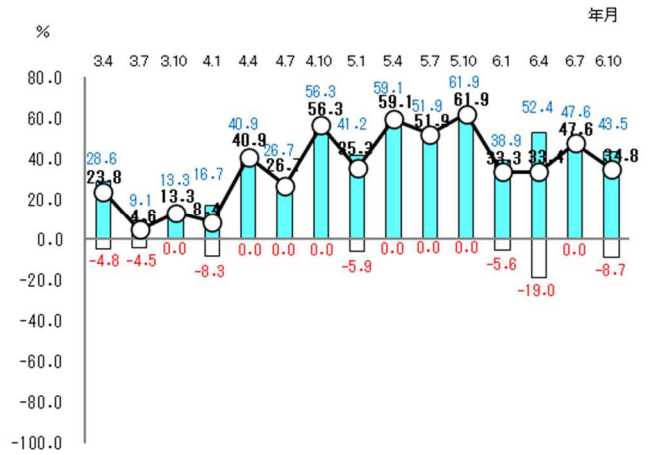
## 売上高



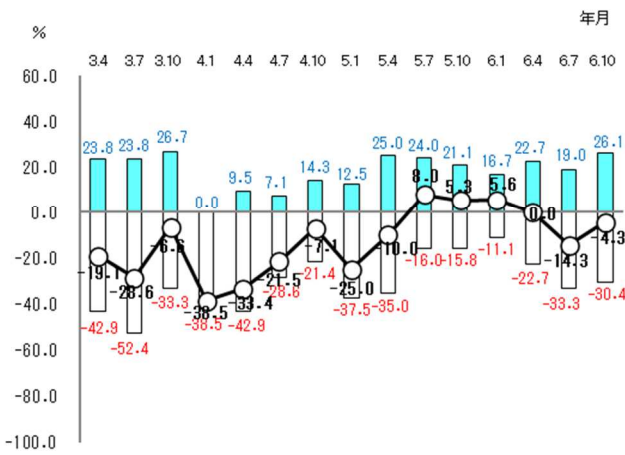
## 客数



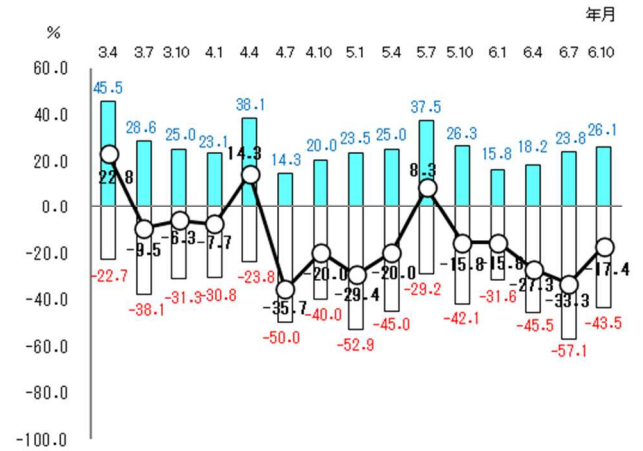
## 販売価格



## 資金繰り



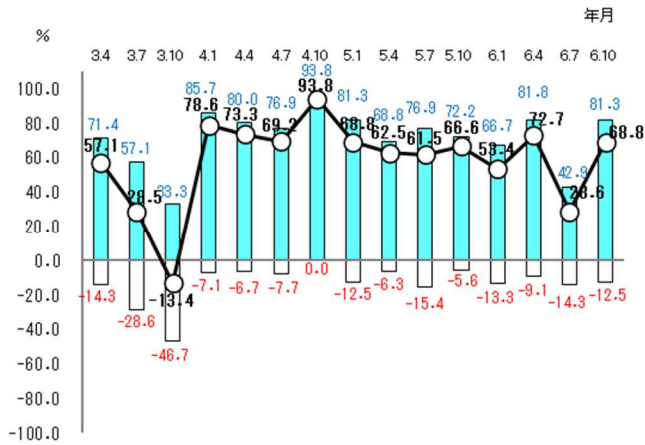
## 収益率



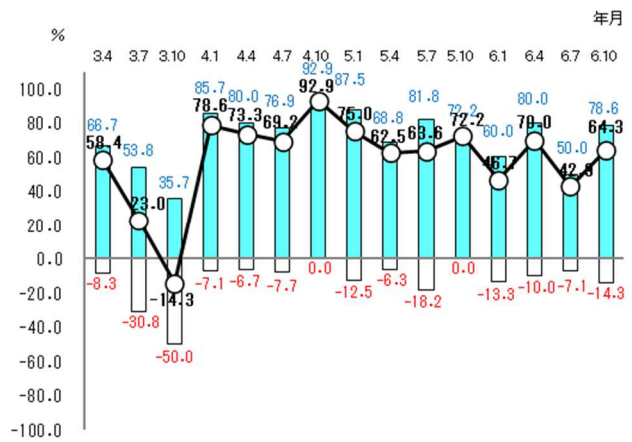


# 力 宿泊業

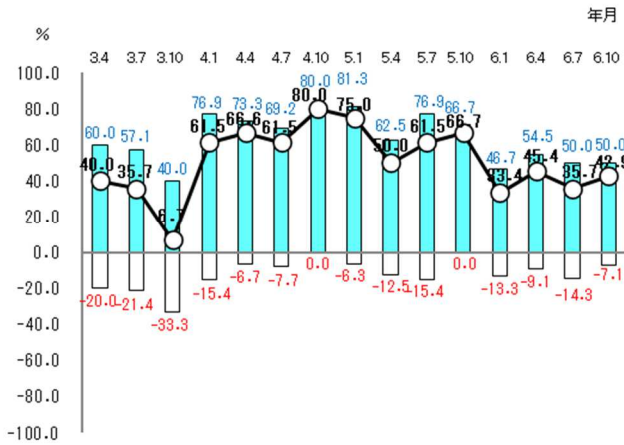
## 業況



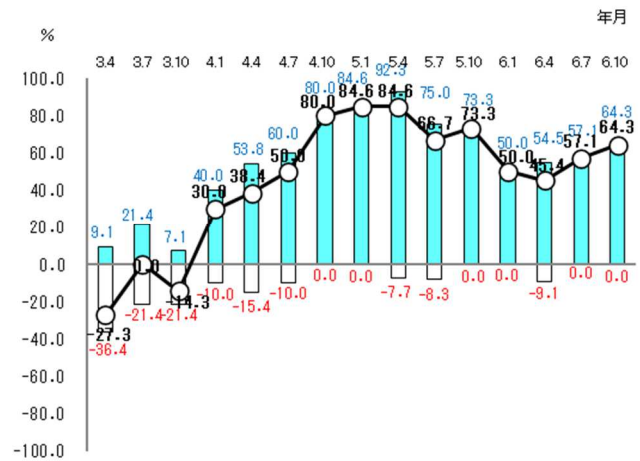
## 売上高



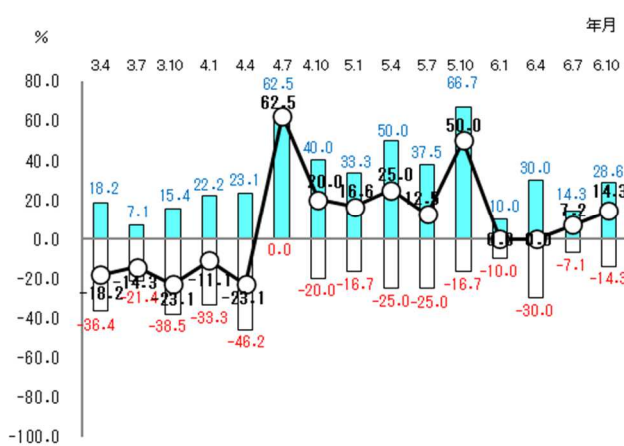
## 客数



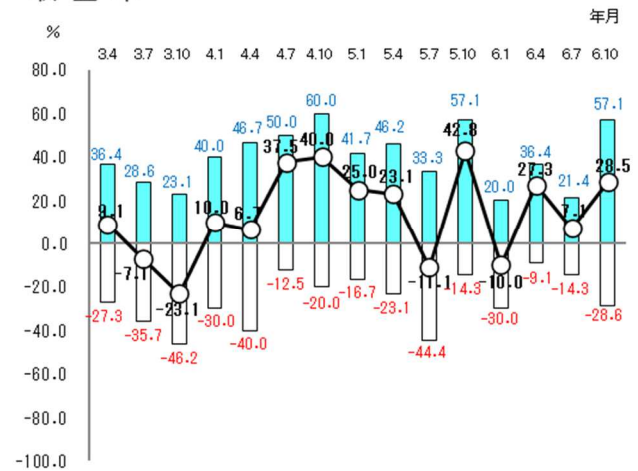
## 販売価格



## 資金繰り

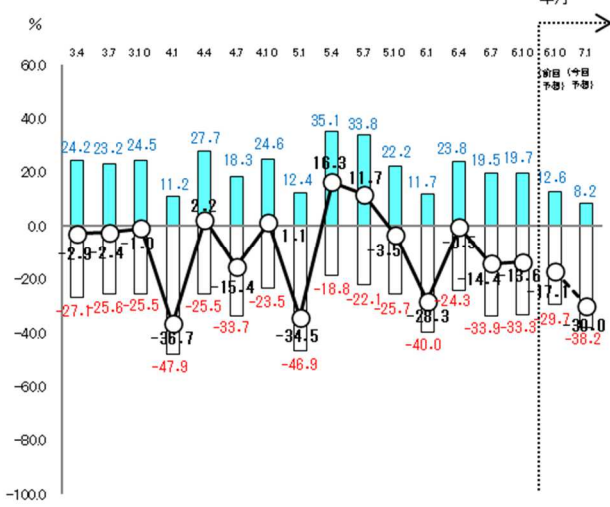


## 収益率

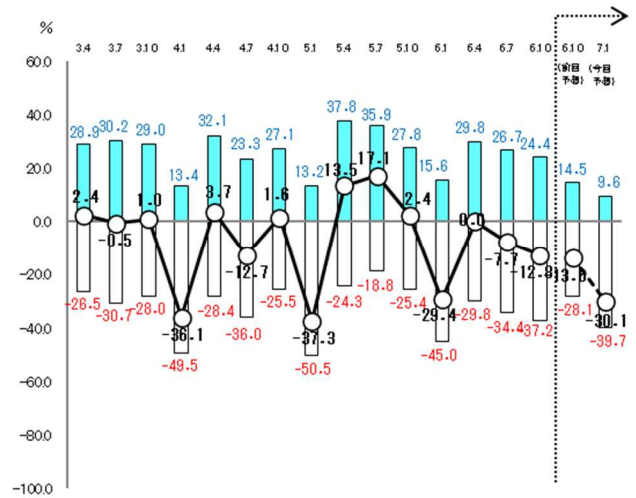


(2) 3か月前に比べて及び3か月後の予想  
非製造業全体

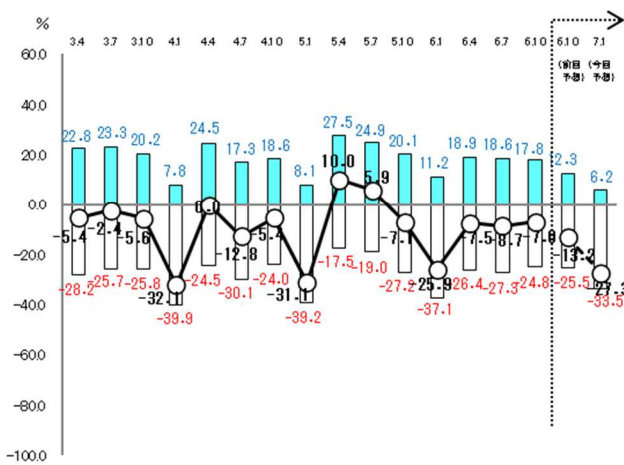
業況



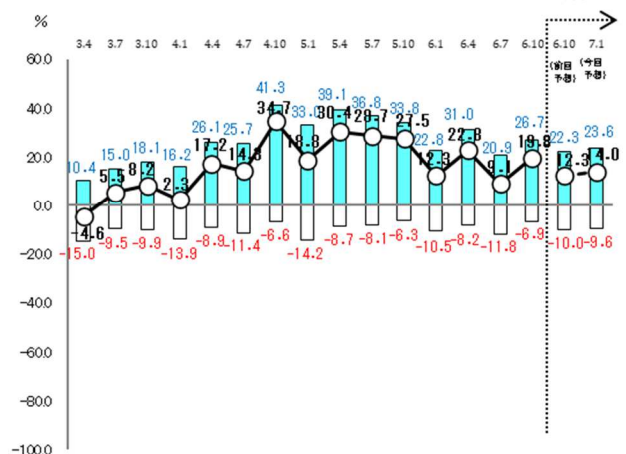
売上高



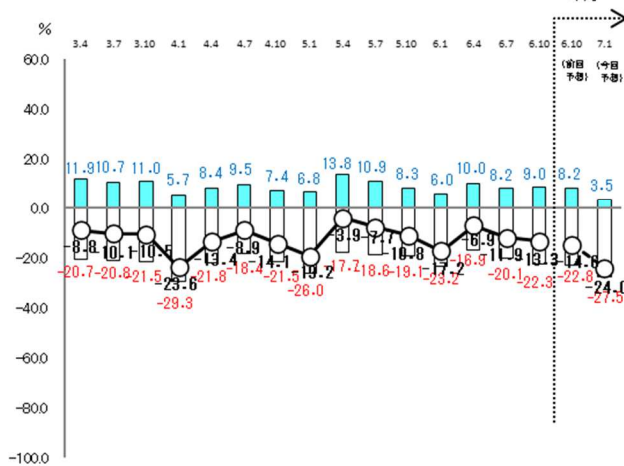
客数 (受注件数・取引先数)



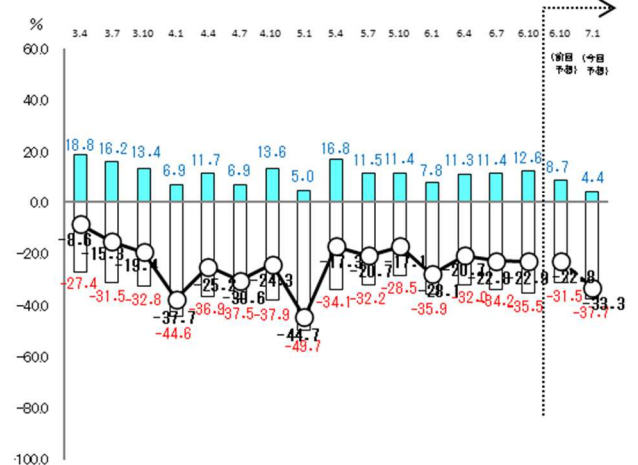
販売価格



資金繰り

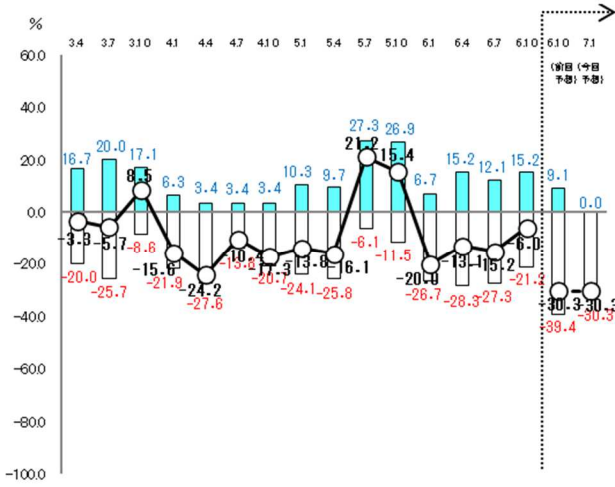


収益率

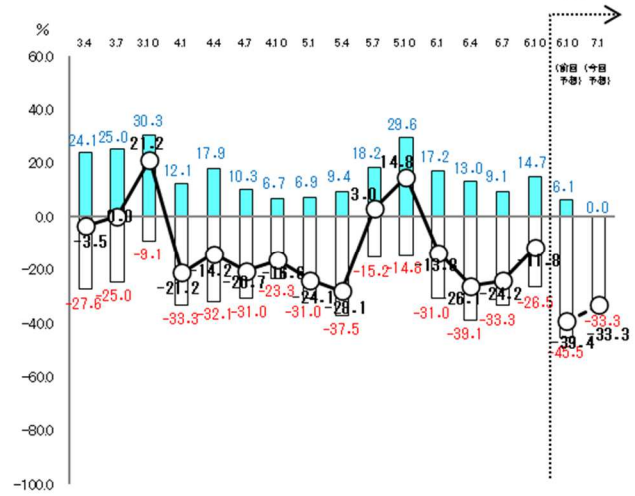


# ア 建設業

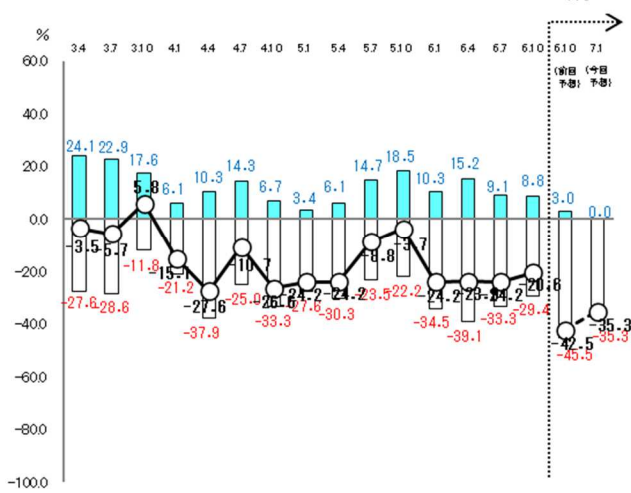
## 業況



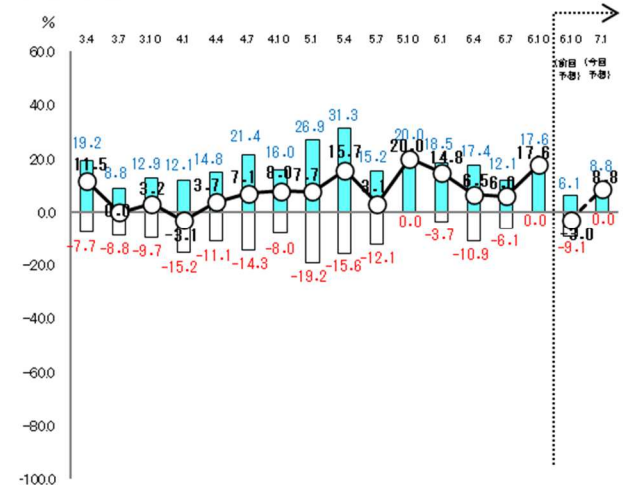
## 売上高



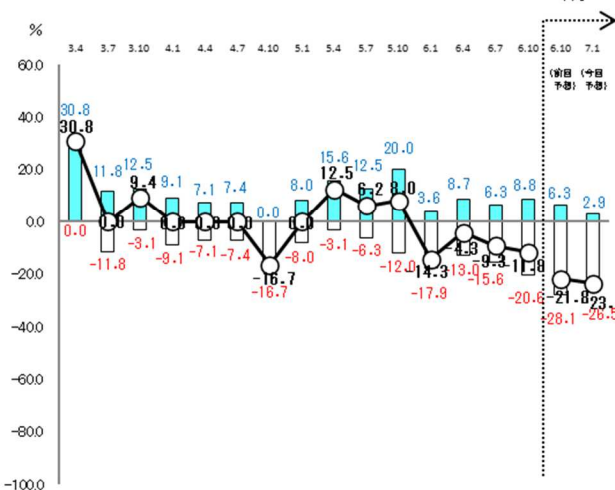
## 客数 (受注件数)



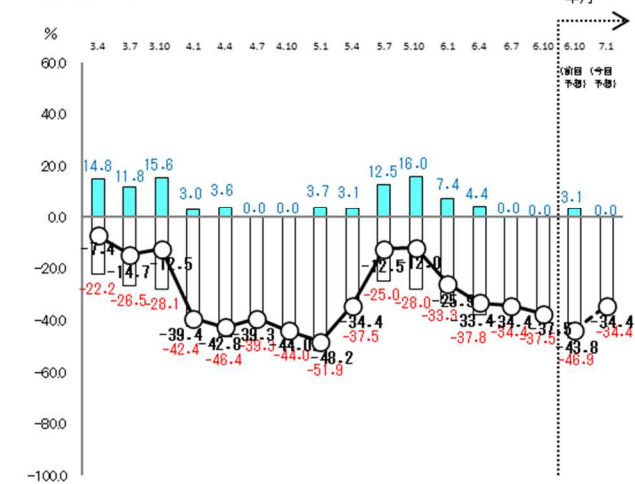
## 販売価格



## 資金繰り

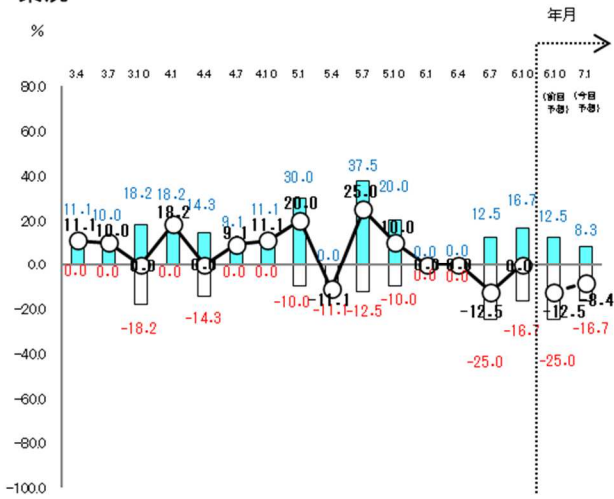


## 収益率

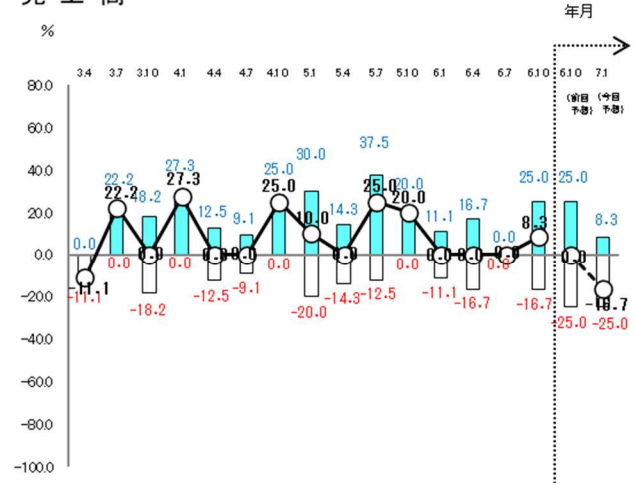


# イ 情報サービス業

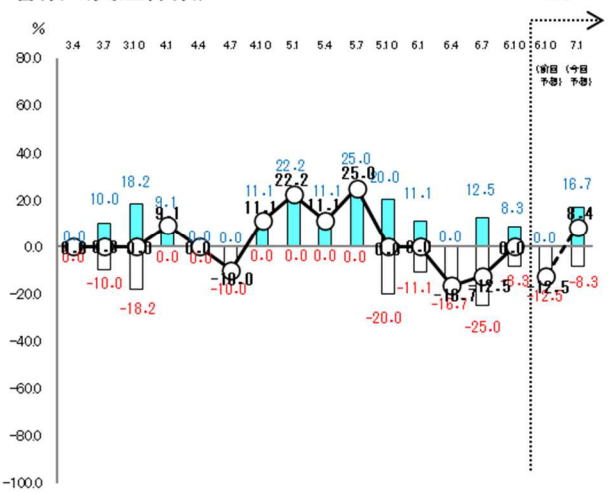
## 業況



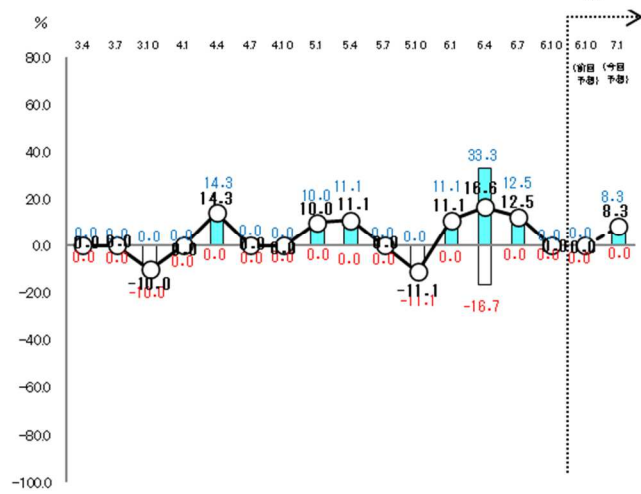
## 売上高



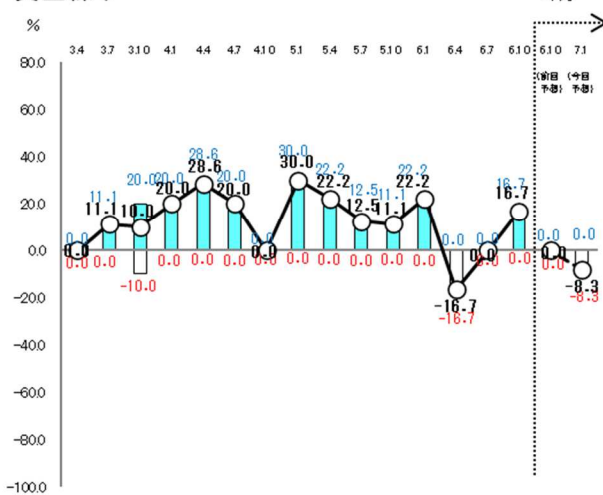
## 客数 (受注件数)



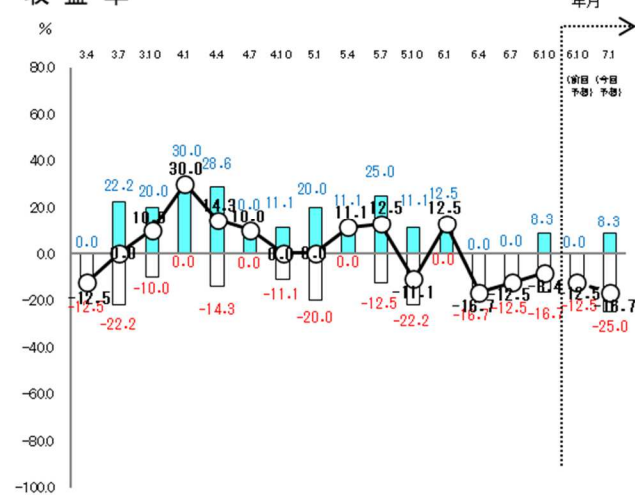
## 販売価格



## 資金繰り

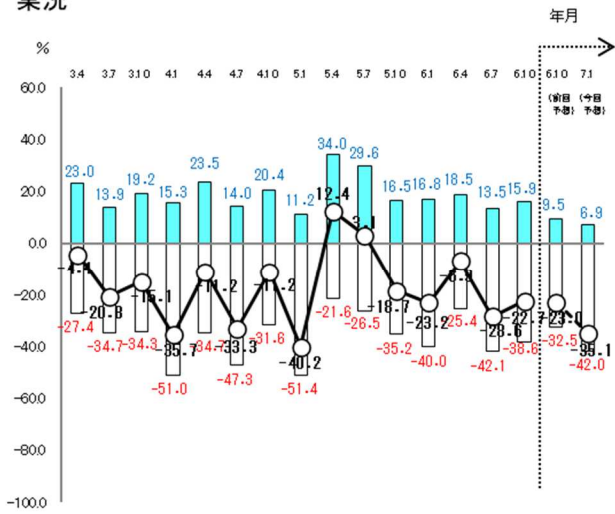


## 収益率

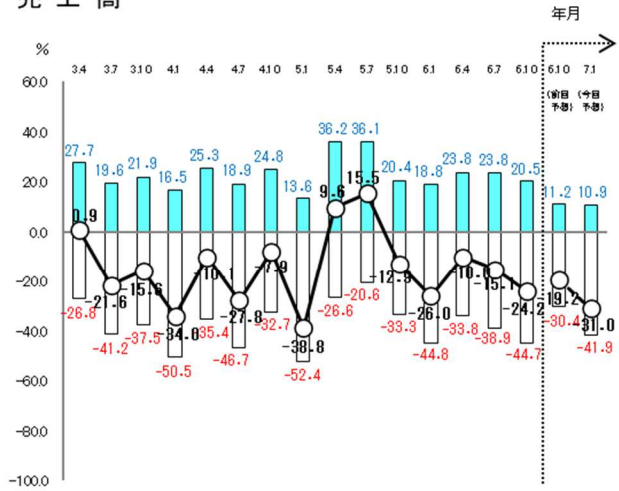


# ウ 小売業

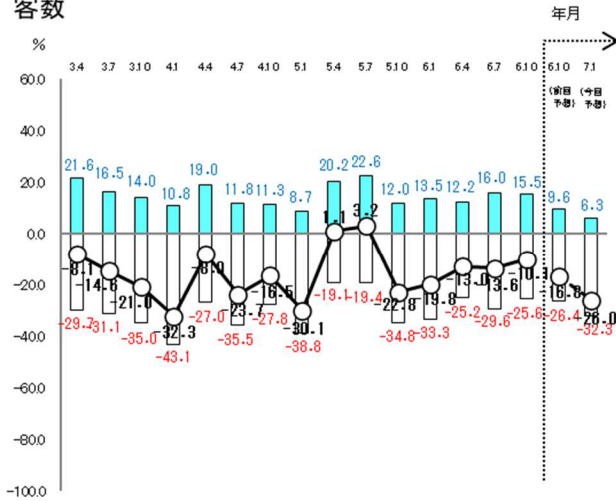
## 業況



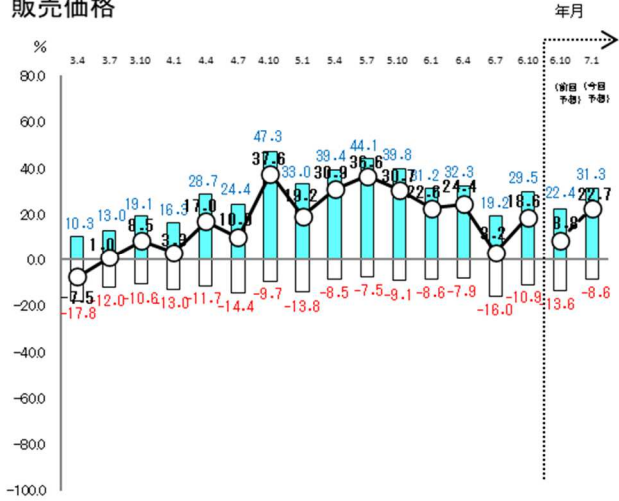
## 売上高



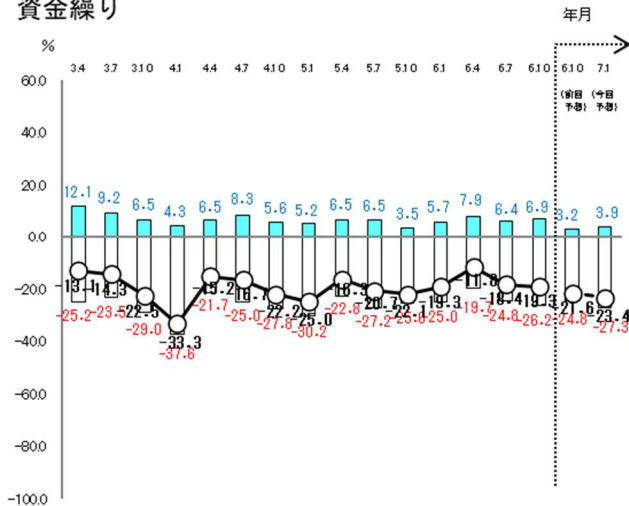
## 客数



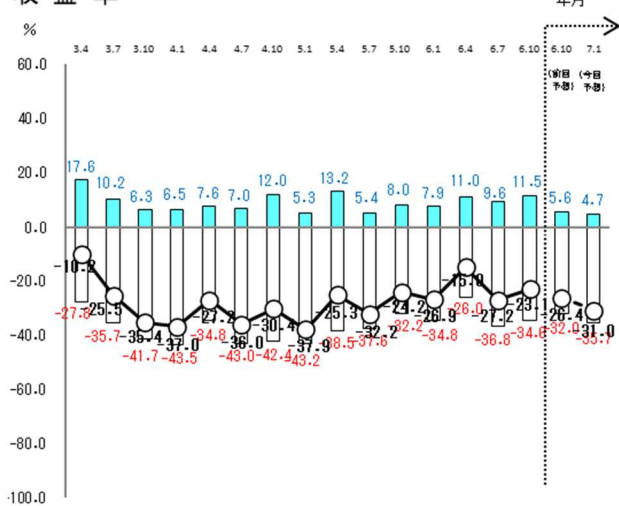
## 販売価格



## 資金繰り

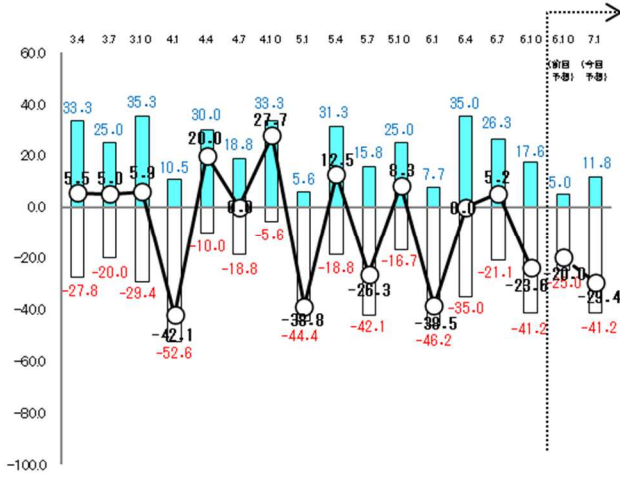


## 収益率

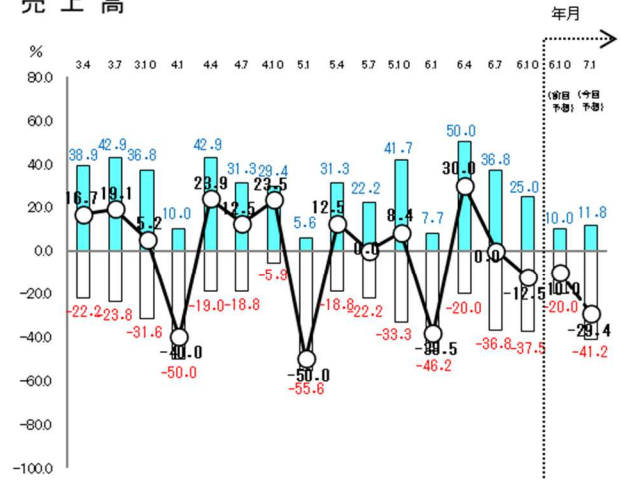


# 工 卸売業

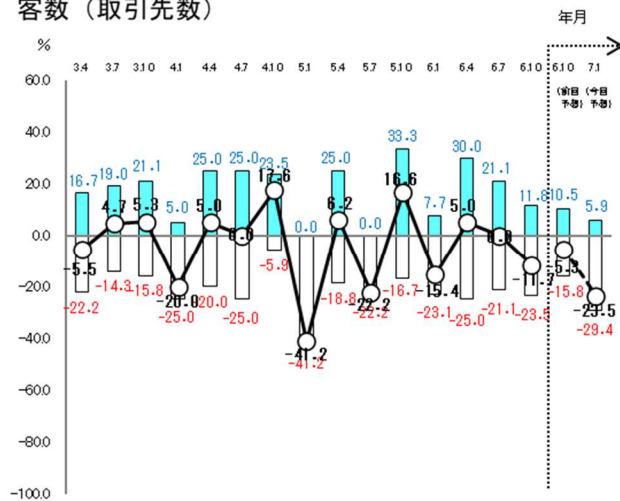
## 業況



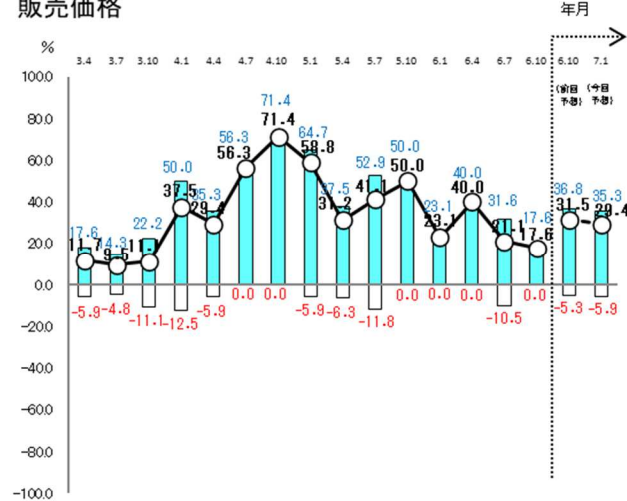
## 売上高



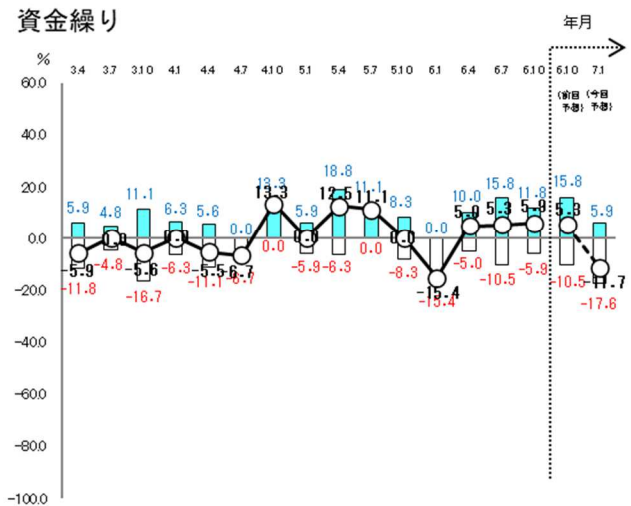
## 客数 (取引先数)



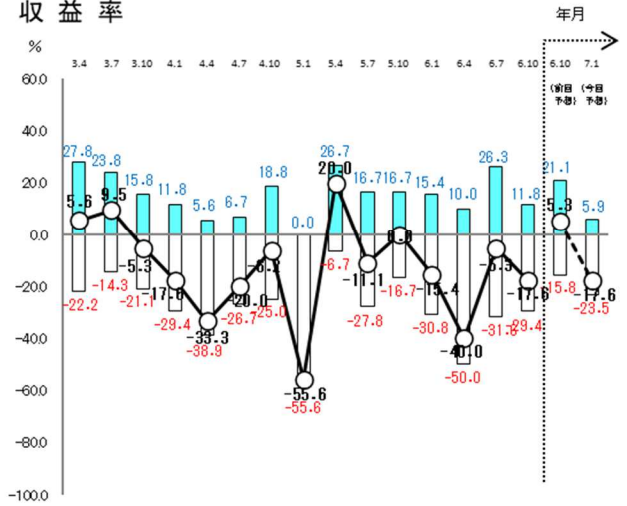
## 販売価格



## 資金繰り

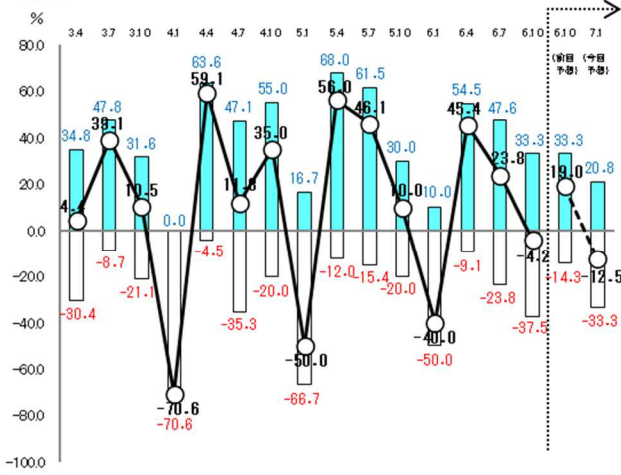


## 収益率

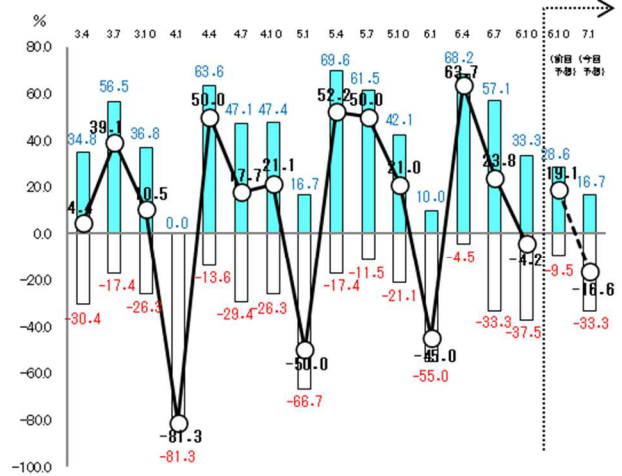


# 才 飲食業

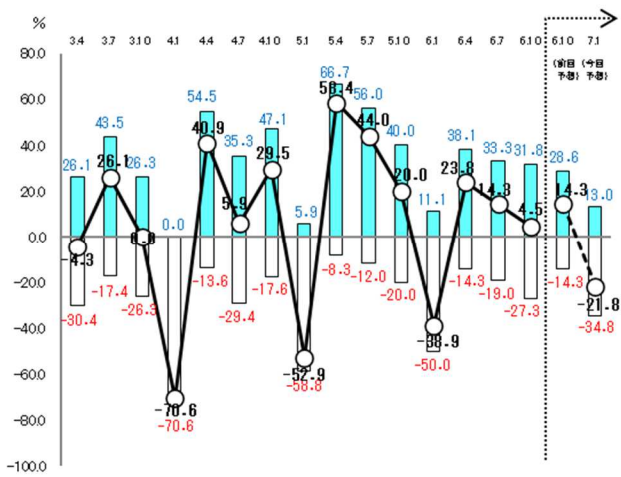
## 業況



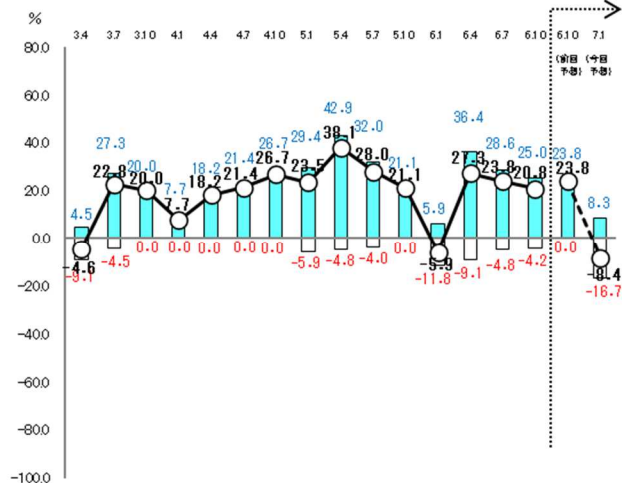
## 売上高



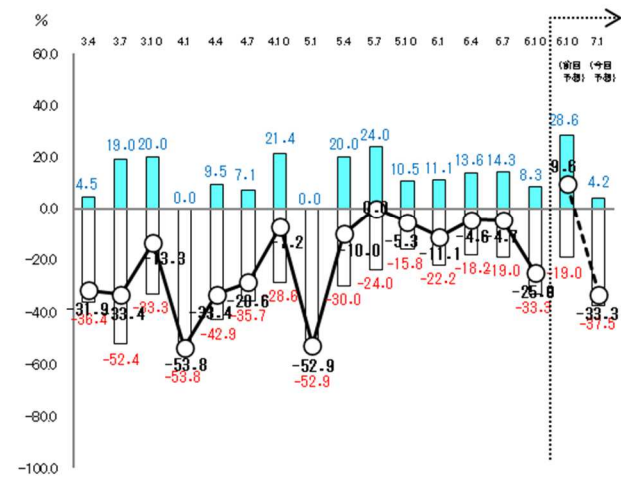
## 客数



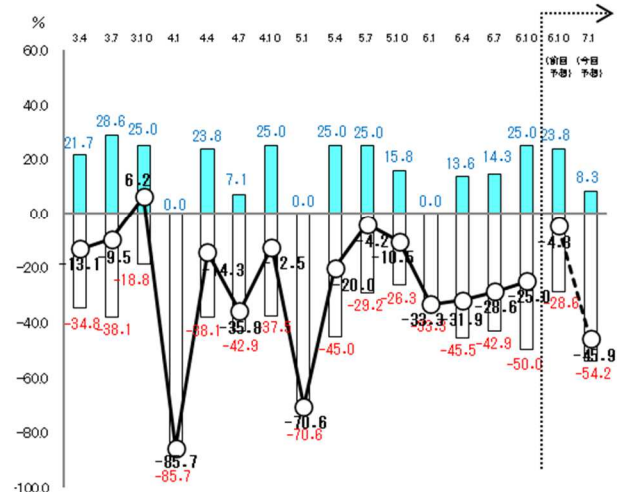
## 販売価格



## 資金繰り

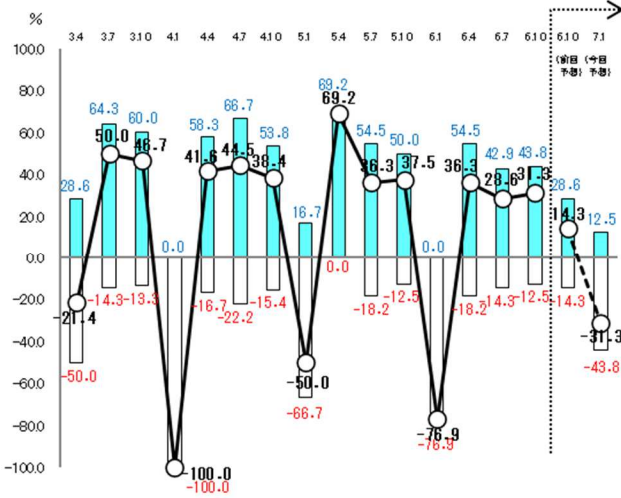


## 収益率

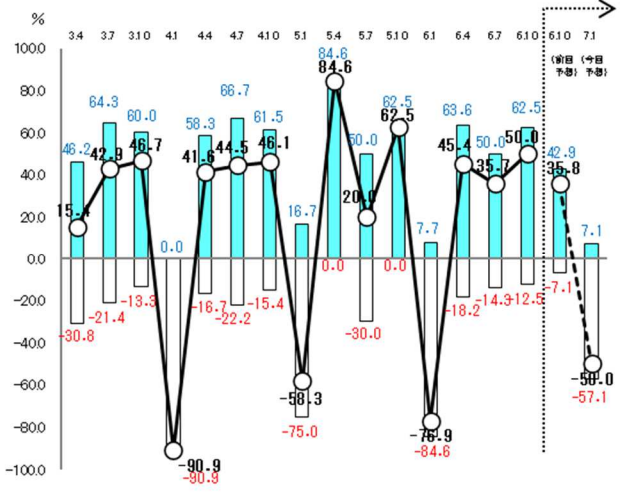


# 力 宿泊業

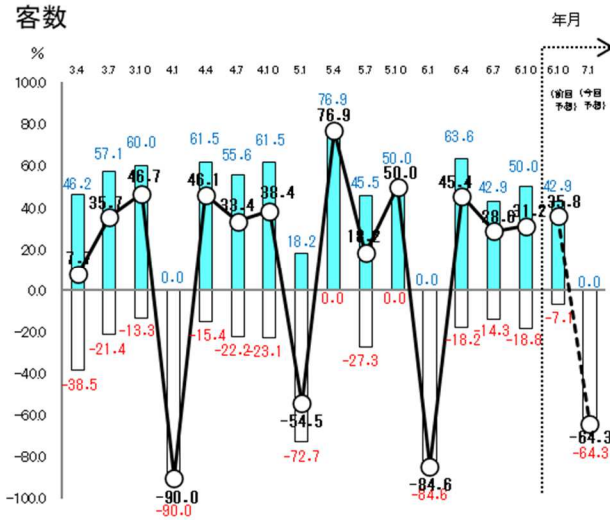
## 業況



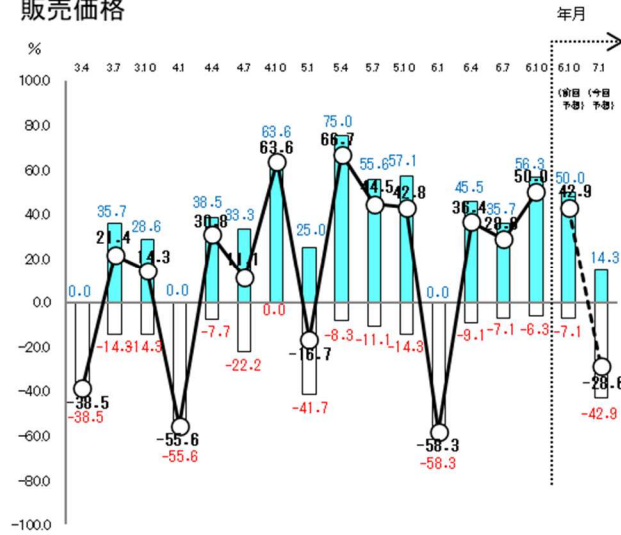
## 売上高



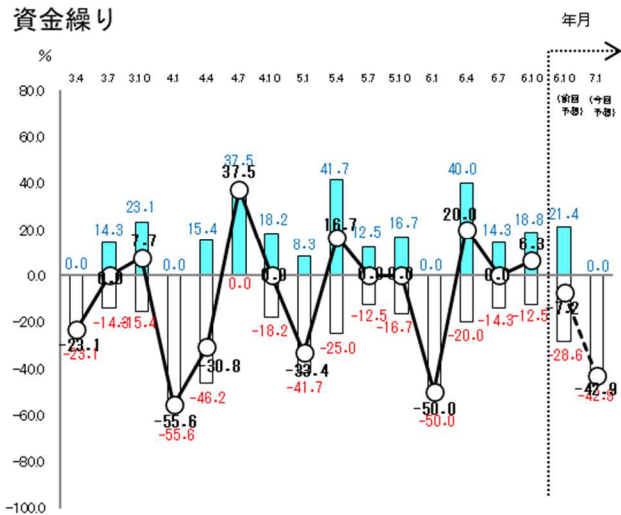
## 客数



## 販売価格



## 資金繰り



## 収益率

